股票代碼：4934

太極能源科技股份有限公司
及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告
民國106及105年第1季

地址：桃園市中壢區復興里中壢工業區自強一路5號
電話：(02)27883798

§目　　錄§

項　　目	頁　　次	財務報告附註編號
一、封　　面	1	-
二、目　　錄	2	-
三、會計師核閱報告	3～4	-
四、合併資產負債表	5	-
五、合併綜合損益表	6～7	-
六、合併權益變動表	8	-
七、合併現金流量表	9～10	-
八、合併財務報表附註		
(一) 公司沿革	11	一
(二) 通過財務報告之日期及程序	11	二
(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	11～21	三
(四) 重大會計政策之彙總說明	21～22	四
(五) 重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	22	五
(六) 重要會計項目之說明	22～56	六～三二
(七) 關係人交易	56～62	三三
(八) 質抵押之資產	62～63	三四
(九) 重大或有負債及未認列之合約承諾	63～66	三五
(十) 重大之災害損失	-	-
(十一) 重大之期後事項	-	-
(十二) 其　　他	66～68	三六～三七
(十三) 附註揭露事項	68～69、71～80	三八
1. 重大交易事項相關資訊		
2. 轉投資事業相關資訊		
3. 大陸投資資訊		
(十四) 部門資訊	69～70	三九

Deloitte.

勤業眾信

勤業眾信聯合會計師事務所
10596 台北市民生東路三段156號12樓

Deloitte & Touche
12th Floor, Hung Tai Financial Plaza
156 Min Sheng East Road, Sec. 3
Taipei 10596, Taiwan

Tel :+886 (2) 2545-9988
Fax:+886 (2) 4051-6888
www.deloitte.com.tw

會計師核閱報告

太極能源科技股份有限公司　公鑒：

太極能源科技股份有限公司及其子公司民國 106 年及 105 年 3 月 31 日之合併資產負債表，暨民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之合併綜合損益表、合併權益變動表與合併現金流量表業經本會計師核閱竣事。上開合併財務報表之編製係管理階層之責任，本會計師之責任則為根據核閱結果出具報告。

除下段所述者外，本會計師係依照審計準則公報第三十六號「財務報表之核閱」規劃並執行核閱工作。由於本會計師僅實施分析、比較與查詢，並未依照一般公認審計準則查核，因是無法對上開合併財務報表之整體表示查核意見。

如合併財務報表附註十三所述，民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日列入合併財務報表之非重要子公司財務報表未經會計師核閱，其民國 106 年及 105 年 3 月 31 日資產總額分別為 1,499,017 仟元及 1,051,772 仟元，佔合併資產總額之 20.74%及 12.98%，負債總額為 151,138 仟元及 382,305 仟元，佔合併負債總額之 6.5%及 14.57%，綜合損益為損失 52,297 仟元及 47,675 仟元，佔綜合損益總額之 12.91%及(33.51%)。另合併財務報表附註係以該等子公司同期間未經會計師核閱之財務報告為依據編制。

依本會計師核閱結果，除上段所述該等子公司財務報表倘經會計師核閱，對合併財務報表可能有所調整之影響外，並未發現第一段所述合併財務報表在所有重大方面有違反證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理

委員會認可並發布生效之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」而須作修正之情事。

如財務報表附註三五所述，太極能源科技股份有限公司之原料供應商 SunEdison Products Singapore PTE Ltd.（以下簡稱 SunEdison）於 105 年 4 月 21 日（美國當地時間）公告申請重整程序，由於此長期購料合約尚在有效期間內，且該公司仍維持營運，太極能源科技股份有限公司已委請律師採取相應措施，並持續追蹤重整案進度。太極能源科技股份有限公司截至 106 年 3 月 31 日已支付 SunEdison 部分保證金餘額美金 8,965 仟元（折合新台幣約 288,009 仟元），帳列存出保證金，及其他應收款美金 945 仟元（折合新台幣約 28,662 仟元），合計佔本合併公司 106 年 3 月 31 日總資產 7,229,078 仟元之 4.38%。

勤業眾信聯合會計師事務所

會計師　謝　明　忠　　會計師　陳　慧　銘

謝明忠　　陳慧銘

金融監督管理委員會核准文號
金管證審字第 1000028068 號

證券暨期貨管理委員會核准文號
台財證六字第 0920123784 號

中　華　民　國　106　年　5　月　5　日

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國 106 年 3 月 31 日暨民國 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	106年3月31日（經核閱）金額	%	105年12月31日（經查核）金額	%	105年3月31日（經核閱）金額	%
	流動資產						
1100	現金及約當現金（附註四、六及三二）	$ 776,464	11	$ 876,608	11	$ 1,209,805	15
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動（附註四、七、三二及三四）	-	-	-	-	99,512	1
1125	備供出售金融資產－流動（附註四、八及三二）	9,025	-	14,028	-	79,669	1
1147	無活絡市場之債務工具投資－流動（附註四、九、三二及三四）	30,653	-	46,788	1	242,519	3
1150	應收票據淨額（附註四、五、十及三二）	164,927	2	323,044	4	188,908	3
1172	應收帳款（附註四、五、十及三二）	538,242	7	573,906	8	817,413	10
1180	應收帳款－關係人（附註四、五、十、三二及三三）	487	-	5,250	-	-	-
1190	應收建造合約款（附註四及十一）	8,465	-	38,172	-	682	-
1200	其他應收款（附註四、十、二八及三二）	69,871	1	54,426	1	86,852	1
1210	其他應收款－關係人（附註四、十、三二及三三）	618,672	9	591,756	8	742	-
1220	本期所得稅資產（附註二五）	1,190	-	707	-	47	-
130X	存貨（附註四、五及十二）	356,752	5	291,259	4	737,682	9
1421	預付款項（附註十六、三三及三五）	184,551	3	248,995	3	267,237	3
1412	預付租金（附註十五及三四）	3,521	-	3,689	-	3,972	-
1470	其他流動資產（附註十六、三二及三四）	3,788	-	22,392	-	5,130	-
11XX	流動資產總計	2,766,608	38	3,091,020	40	3,740,170	46
	非流動資產						
1523	備供出售金融資產－非流動（附註四、八及三二）	37,354	1	46,776	1	-	-
1546	無活絡市場之債務工具投資－非流動（附註四、九、三二及三四）	10,816	-	10,992	-	10,473	-
1600	不動產、廠房及設備（附註四、十四、三三及三四）	3,462,896	48	3,217,176	42	2,965,827	36
1780	其他無形資產（附註四）	1,200	-	1,541	-	2,352	-
1840	遞延所得稅資產（附註四及二五）	196,861	3	159,207	2	81,964	1
1915	預付設備款（附註十六、二八及三三）	147,749	2	488,945	7	623,776	8
1920	存出保證金（附註十六、三二、三四及三五）	295,211	4	297,792	4	377,389	5
1985	長期預付租金（附註十五及三四）	144,650	2	152,465	2	167,167	2
1990	其他非流動資產（附註十六、三二、三四及三五）	165,733	2	174,906	2	133,254	2
15XX	非流動資產總計	4,462,470	62	4,549,800	60	4,362,202	54
1XXX	資產總計	$ 7,229,078	100	$ 7,640,820	100	$ 8,102,372	100
代碼	負債及權益						
	流動負債						
2100	短期借款（附註十七、三二、三四及三五）	$ 763,019	11	$ 656,235	9	$ 382,082	5
2110	應付短期票券（附註十七、三二及三四）	50,000	1	-	-	-	-
2120	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動（附註四、七及三二）	-	-	-	-	967	-
2150	應付票據（附註十八及三二）	86,807	1	134,457	2	186,721	2
2170	應付帳款（附註十八及三二）	464,692	6	560,372	7	628,341	8
2190	應付建造合約款（附註四及十一）	2,742	-	317	-	337	-
2200	其他應付款（附註十九、二八及三二）	370,376	5	298,250	4	373,433	5
2220	其他應付款－關係人（附註十九、二八、三二及三三）	29,019	-	35,707	-	532,576	6
2230	本期所得稅負債（附註二五）	4,184	-	1,624	-	2,123	-
2310	預收款項（附註三三）	50,677	1	77,960	1	46,086	-
2320	一年內到期之長期借款（附註十七、二八、三二及三四）	-	-	42,693	1	243,165	3
2399	其他流動負債	5,992	-	1,727	-	9,624	-
21XX	流動負債總計	1,827,508	25	1,809,342	24	2,405,455	29
	非流動負債						
2540	長期借款（附註十七、三二、三四及三五）	315,193	4	332,723	4	16,662	-
2550	負債準備－非流動（附註四及二十）	3,203	-	2,816	-	906	-
2570	遞延所得稅負債（附註四及二五）	722	-	770	-	-	-
2645	存入保證金（附註三二）	176	-	46	-	50	-
2630	長期遞延收入（附註四、十九及二七）	172,947	3	180,801	3	196,125	3
2640	淨確定福利負債－非流動（附註四及二一）	6,208	-	6,141	-	5,458	-
25XX	非流動負債總計	498,449	7	523,297	7	219,201	3
2XXX	負債總計	2,325,957	32	2,332,639	31	2,624,656	32
	歸屬於本公司業主之權益（附註二二）						
3110	普通股股本	3,565,450	49	3,565,450	46	3,165,450	39
3200	資本公積	2,007,712	28	2,007,712	26	1,709,032	21
	保留盈餘						
3310	法定盈餘公積	72,698	1	72,698	1	39,371	-
3320	特別盈餘公積	10,965	-	10,965	-	-	-
3350	未分配盈餘	(371,524)	(5)	(95,945)	(1)	619,859	8
3300	保留盈餘總計	(287,861)	(4)	(12,282)	-	659,230	8
	其他權益						
3410	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	(356,130)	(5)	(236,073)	(3)	(56,009)	-
3425	備供出售金融資產未實現損益	(26,050)	-	(16,626)	-	13	-
3400	其他權益合計	(382,180)	(5)	(252,699)	(3)	(55,996)	-
31XX	本公司業主權益總計	4,903,121	68	5,308,181	69	5,477,716	68
3XXX	權益總計	4,903,121	68	5,308,181	69	5,477,716	68
	負債及權益總計	$ 7,229,078	100	$ 7,640,820	100	$ 8,102,372	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

（請參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 106 年 5 月 5 日核閱報告）

董事長：謝清福　　經理人：謝明凱　　會計主管：余秀珍

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元，惟
每股盈餘為元

代碼		106年1月1日至3月31日 金額	%	105年1月1日至3月31日 金額	%
	營業收入（附註四、二三及三三）				
4100	銷貨收入淨額	$ 1,205,809	100	$ 2,128,939	100
	營業成本				
5110	銷貨成本（附註四、十二、二一、二四及三三）	(1,370,566)	(114)	(1,827,127)	(86)
5900	營業毛利	(164,757)	(14)	301,812	14
	營業費用（附註十、二一、二四及三三）				
6100	推銷費用	(26,499)	(2)	(19,520)	(1)
6200	管理費用	(37,985)	(3)	(51,512)	(2)
6300	研究發展費用	(17,592)	(2)	(23,397)	(1)
6000	營業費用合計	(82,076)	(7)	(94,429)	(4)
6900	營業淨（損）利	(246,833)	(21)	207,383	10
	營業外收入及支出（附註二四、二七及三三）				
7010	其他收入	16,681	1	6,727	-
7020	其他利益及損失	(50,048)	(4)	(15,008)	(1)
7050	財務成本	(5,754)	-	(13,196)	-
7000	營業外收入及支出合計	(39,121)	(3)	(21,477)	(1)
7900	本期稅前淨（損）利	(285,954)	(24)	185,906	9
7950	所得稅利益（附註四及二五）	10,375	1	1,382	-
8200	本期淨（損）利	(275,579)	(23)	187,288	9

（接次頁）

（承前頁）

代碼		106年1月1日至3月31日 金額	%	105年1月1日至3月31日 金額	%
	其他綜合損益				
	後續可能重分類至損益之項目				
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	($ 144,647)	(12)	($ 54,270)	(2)
8362	備供出售金融資產未實現損益	(9,424)	(1)	13	-
8399	與可能重分類之項目相關之所得稅（附註四及二五）	24,590	2	9,226	-
8300	其他綜合損益（淨額）合計	(129,481)	(11)	(45,031)	(2)
8500	本期綜合損益總額	($ 405,060)	(34)	$ 142,257	7
	淨利歸屬於：				
8610	本公司業主	($ 275,579)	(23)	$ 187,288	9
8620	非控制權益	-	-	-	-
8600		($ 275,579)	(23)	$ 187,288	9
	綜合損益總額歸屬於：				
8710	本公司業主	($ 405,060)	(34)	$ 142,257	7
8720	非控制權益	-	-	-	-
8700		($ 405,060)	(34)	$ 142,257	7
	每股盈餘（附註二六）				
	來自繼續營業單位				
9710	基本	($ 0.77)		$ 0.59	
9810	稀釋	($ 0.77)		$ 0.59	

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

（請參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 106 年 5 月 5 日核閱報告）

董事長：謝清福　　經理人：謝明凱　　會計主管：余秀珍

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元，惟每股股利為元

代碼		歸屬於本公司業主之權益								權益總額
		股本			保留盈餘			其他權益項目		
		股數（仟股）	金額	資本公積	法定盈餘公積	特別盈餘公積	未分配盈餘	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	備供出售金融資產未實現損益	
A1	105 年 1 月 1 日餘額	316,545	$ 3,165,450	$ 1,709,032	$ 39,371	$ -	$ 432,571	($ 10,965)	$ -	$ 5,335,459
D1	105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日淨利	-	-	-	-	-	187,288	-	-	187,288
D3	105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	(45,044)	13	(45,031)
D5	105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日綜合損益總額	-	-	-	-	-	187,288	(45,044)	13	142,257
Z1	105 年 3 月 31 日餘額	316,545	$ 3,165,450	$ 1,709,032	$ 39,371	$ -	$ 619,859	($ 56,009)	$ 13	$ 5,477,716
A1	106 年 1 月 1 日餘額	356,545	$ 3,565,450	$ 2,007,712	$ 72,698	$ 10,965	($ 95,945)	($ 236,073)	($ 16,626)	$ 5,308,181
D1	106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日淨損	-	-	-	-	-	(275,579)	-	-	(275,579)
D3	106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	(120,057)	(9,424)	(129,481)
D5	106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日綜合損益總額	-	-	-	-	-	(275,579)	(120,057)	(9,424)	(405,060)
Z1	106 年 3 月 31 日餘額	356,545	$ 3,565,450	$ 2,007,712	$ 72,698	$ 10,965	($ 371,524)	($ 356,130)	($ 26,050)	$ 4,903,121

後附之附註係本財務報告之一部分。

（請參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 106 年 5 月 5 日核閱報告）

董事長：謝清福　　經理人：謝明凱　　會計主管：余秀珍

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

代　碼		106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
	營業活動之現金流量		
A10000	本期稅前淨利	($ 285,954)	$ 185,906
A20010	不影響現金流量之收益費損項目		
A20100	折舊費用	162,453	158,234
A20200	攤銷費用	1,238	1,648
A20300	呆帳費用回升利益提列數	(2,007)	(10,616)
A20400	透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債之淨利益（損失）	1,334	(1,355)
A20900	財務成本	5,754	13,196
A21200	利息收入	(14,662)	(4,553)
A23100	處分出售金融資產淨利益	(12)	(2)
A29900	迴轉遞延收入	(2,019)	(2,270)
A22500	處分不動產、廠房及設備（利益）損失	(33)	676
A24100	未實現外幣兌換損失	(6,708)	10,344
A23700	非金融資產減損損失（回升利益）	6,156	(6,144)
A23800	存貨跌價及呆滯損失	39,342	5,659
A30000	營業資產及負債之淨變動數		
A31110	持有供交易之金融資產減少	-	1,332
A31130	應收票據減少（增加）	158,987	(23,780)
A31150	應收帳款減少	38,848	64,380
A31160	應收帳款-關係人減少	4,763	-
A31180	其他應收款增加	(8,849)	(35,744)
A31190	其他應收款－關係人增加	(65)	(734)
A31200	存貨增加	(104,562)	(166,633)
A31170	應收建造合約款減少	-	6,063
A31230	預付款項減少（增加）	64,444	(12,820)
A31260	其他非流動資產減少	3,017	8,754
A32110	持有供交易之金融負債減少	(1,334)	(190)
A32130	應付票據減少	(47,650)	(127,172)
A32150	應付帳款減少	(95,680)	(155,215)
A32240	應計退休金負債增加	67	87
A32180	其他應付款增加（減少）	2,824	(18,137)
A32190	其他應付款－關係人（減少）增加	(1,283)	248
A32170	應付建造合約款增加	2,425	-
A32200	負債準備增加	387	-

（接次頁）

（承前頁）

代　碼		106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
A32210	預收款項減少	($ 27,283)	($ 18,516)
A32230	其他流動負債增加	4,265	2,895
A33000	營運產生之現金	(101,797)	(124,459)
A33100	收取之利息	6,368	4,530
A33300	支付之利息	(5,288)	(11,335)
A33500	支付之所得稅	(660)	(362)
AAAA	營業活動之淨現金流出	(101,377)	(131,626)
	投資活動之現金流量		
B00200	出售原始認列時指定為透過損益按公允價值衡量之金融資產	-	31,752
B00300	取得備供出售金融資產	-	(89,985)
B00400	出售備供出售金融資產價款	5,013	10,331
B00700	出售無活絡市場之債務工具投資	16,311	49,012
B02700	購置不動產、廠房及設備	(59,779)	(51,267)
B02800	處分不動產、廠房及設備價款	-	21,071
B04300	其他應收款-關係人增加	(17,820)	-
B05900	關係人償還款項	-	49,950
B07100	預付設備款增加	(24,882)	(66,250)
B03800	存出保證金減少	2,581	55,947
B06600	其他金融資產減少	18,604	66,478
BBBB	投資活動之淨現金流（出）入	(59,972)	77,039
	籌資活動之現金流量		
C00100	短期借款增加	131,456	-
C00200	短期借款減少	-	(21,687)
C00500	應付短期票券增加	50,000	-
C03000	存入保證金增加	130	-
C03700	其他應付款－關係人增加	-	294,791
C01700	償還長期借款	(78,187)	(83,401)
CCCC	籌資活動之淨現金流入	103,399	189,703
DDDD	匯率變動對現金及約當現金之影響	(42,194)	(34,678)
EEEE	本期現金及約當現金淨（減少）增加	(100,144)	100,438
E00100	期初現金及約當現金餘額	876,608	1,109,367
E00200	期末現金及約當現金餘額	$ 776,464	$ 1,209,805

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

（請參閱勤業眾信聯合會計師事務所民國 106 年 5 月 5 日核閱報告）

董事長：謝清福　　經理人：謝明凱　　會計主管：余秀珍

太極能源科技股份有限公司及子公司

合併財務報表附註

民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

（除另註明外，金額以新台幣仟元為單位）

一、公司沿革

太極能源科技股份有限公司（以下稱「本公司」）於 96 年 5 月 14 日核准設立，所營業務主要為太陽能電池、模組及相關系統之研究、設計、製造及銷售業務。

本公司股票自 100 年 8 月起在台灣證券交易所上市買賣。

本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣新台幣表達。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告於 106 年 5 月 5 日經董事會通過發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一) 首次適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會（以下稱「金管會」）認可並發布生效之國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）（以下稱「IFRSs」）

除下列說明外，適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及金管會認可並發布生效之 IFRSs 將不致造成合併公司會計政策之重大變動：

1. IFRS 2「股份基礎給付」之修正

「2010-2012 週期之年度改善」修正 IFRS 2，改變既得條件及市價條件定義，並增列績效條件及服務條件定義。該修正釐清績效條件所訂之績效目標得按合併公司或同一集團內另一個體之營運（非市價條件）或權益工具之市價（市價條件）設定。該績效目標之設定得與合併公司整體或部分（例如某一部門）績效有關，而達成績效目標之期間則不得長於服務期間。此外，該修正並釐清股價指數目標因同時反映合併公司本身與集團外其他企業之績效，故非屬績效條件。由於股份基礎給付協議之

條件屬市價條件、非市價條件或非既得條件將有不同之會計處理，前述修正係影響 106 年以後給與之股份基礎給付協議。

2. IFRS 3「企業合併」之修正

「2010-2012 週期之年度改善」修正 IFRS 3，釐清企業合併之或有對價，無論是否為 IAS 39 或 IFRS 9 之適用範圍，應以公允價值衡量，公允價值變動係認列於損益。前述修正適用於收購日於 106 年以後之企業合併交易。

「2011-2013 週期之年度改善」修正 IFRS 3，釐清 IFRS 3 不適用於聯合協議本身財務報表中關於其設立之會計處理。前述修正自 106 年開始推延適用。

3. IFRS 5「待出售非流動資產及停業單位」之修正

「2012-2014 週期之年度改善」修正 IFRS 5，釐清「待出售」與「待分配予業主」之非流動資產（或處分群組）間之重分類，並非出售計畫或分配予業主計畫之變更，故無須迴轉原分類下之會計處理。此外，「待分配予業主」之非流動資產不再符合待分配條件（亦不再符合待出售條件）時，應比照資產停止分類為待出售之處理。前述修正將適用於 106 年以後之交易。

4. IFRS 8「營運部門」之修正

「2010-2012 週期之年度改善」修正 IFRS 8，釐清若合併公司將具有相似經濟特性之營運部門彙總揭露，應於合併財務報告揭露管理階層於運用彙總基準時所作之判斷。此外，該修正亦釐清合併公司僅於部門資產定期提供予主要營運決策者時，始應揭露應報導部門資產總額至企業資產總額之調節資訊。106 年追溯適用 IFRS 8 之修正時，部門資訊揭露增加彙總基準判斷之說明，請參閱附註三九。

5. IFRS 11「聯合協議」之修正

「聯合營運權益之取得」修正 IFRS 11，規定當合併公司（聯合營運者）取得符合業務定義之聯合營運權益，應依 IFRS 3 及其他準則之原則，按公允價值衡量可辨認資產與負債、將收購相關成本認列為費用（發行債券或權益證券之成本除外）、認列

商譽及原始認列資產與負債相關之遞延所得稅，以及至少每年進行商譽減損評估。此外，尚應揭露企業合併相關資訊。若合併公司以現存之業務作價投資成立聯合營運，亦應按前述規定處理。

若對聯合營運具聯合控制之個體於取得聯合營運權益前後為共同控制下個體，則該收購不適用上述規定。

上述修正適用於 106 年以後取得之聯合營運權益。

6. IFRS 13「公允價值衡量」之修正

「2010-2012 週期之年度改善」修正 IFRS 13 之結論基礎，說明 106 年追溯適用該修正時，折現之影響不重大之無設定利率短期應收款及應付款係按原始發票金額衡量。

「2011-2013 週期之年度改善」修正 IFRS 13，釐清包含於 IAS 39 或 IFRS 9 適用範圍內並依其規定處理之所有合約，即使該合約不符合 IAS 32「金融工具：表達」對金融資產或金融負債之定義，亦可適用以淨額基礎衡量金融資產及金融負債群組公允價值之例外規定（即「組合例外」）。

7. IAS 16「不動產、廠房及設備」之修正

「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」修正 IAS 16，規定企業應採用適當之折舊方法以反映其消耗該不動產、廠房及設備未來經濟效益之預期型態，說明收入並非衡量不動產、廠房及設備折舊費用之適當基礎，故該修正並未提供得以收入為基礎提列折舊費用之例外規定。

8. IAS 24「關係人揭露」之修正

「2010-2012 週期之年度改善」修正 IAS 24，釐清為合併公司提供主要管理階層服務之管理個體係屬合併公司之關係人，應揭露管理個體提供主要管理階層服務而致報導個體發生之已支付或應支付金額，惟無須揭露該等薪酬之組成類別。

9. IAS 36「資產減損」之修正

「非金融資產可回收金額之揭露」修正 IAS 36，釐清合併公司僅須於認列或迴轉資產或現金產生單位減損損失當期揭露

其可回收金額。此外，已認列減損之不動產、廠房及設備之可回收金額若以公允價值減處分成本衡量，合併公司將揭露公允價值層級，對屬第 2／3 等級公允價值衡量，並將額外揭露衡量公允價值之評價技術及每一關鍵假設。若以現值法衡量公允價值減處分成本，須增加揭露所採用之折現率。前述修正於 106 年追溯適用。

10. IAS 38「無形資產」之修正

「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」修正 IAS 38，規定企業應採用適當之攤銷方法以反映其消耗該無形資產未來經濟效益之預期型態，除下列有限情況外，收入並非衡量無形資產攤銷費用之適當基礎：

(1) 無形資產係以收入之衡量表示（例如，合約預先設定當收入達特定門檻後無權再使用該無形資產），或

(2) 能證明收入與無形資產經濟效益之耗用高度相關。

11. IFRIC 21「公課」

IFRIC 21 對政府依法所徵收之各類款項（簡稱公課）應於何時認列為負債提供指引，包含徵收時點與金額均已確定者，及徵收時點或金額尚不確定之負債準備。合併公司於應納公課之交易或活動發生時，始應估列相關負債。因此，若支付義務係隨時間經過而發生（例如隨著企業收入之產生），相關負債亦應逐期認列；若支付義務係於達到特定門檻（例如營收達到特定金額）時產生，相關負債應於達到門檻時認列。

12. 證券發行人財務報告編製準則之修正

該修正除配合 106 年適用之 IFRSs 新增若干會計項目及非金融資產減損揭露規定外，另配合國內實施 IFRSs 情形，強調若干認列與衡量規定，並新增關係人交易及商譽等揭露。

該修正規定，其他公司或機構與合併公司之董事長或總經理為同一人，或具有配偶或二親等以內關係者，除能證明不具控制或重大影響者外，係屬實質關係人。此外，該修正規定應揭露與合併公司進行交易之關係人名稱及關係，若單一關係人

交易金額或餘額達合併公司各該項交易總額或餘額 10%以上者，應按關係人名稱單獨列示。

此外，若被收購公司於合併後之實際營運情形與收購時之預期效益有重大差異者，該修正規定應附註揭露。

106 年追溯適用前述修正時，係增加關係人交易之揭露，請參閱附註三三。

除上述影響外，首次適用上述修正後之證券發行人財務報告編製準則及金管會認可並發布生效之 IFRSs 之無其他重大影響。

(二) IASB 已發布但尚未經金管會認可並發布生效之 IFRSs

合併公司未適用下列業經 IASB 發布但未經金管會認可並發布生效之 IFRSs。截至本合併財務報告通過發布日止，除 IFRS 9 及 IFRS 15 應自 107 年度開始適用外，金管會尚未發布其他準則生效日。

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日(註1)
「2014-2016 週期之年度改善」	註 2
IFRS 2 之修正「股份基礎給付交易之分類與衡量」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 4 之修正「於 IFRS 4『保險合約』下 IFRS 9『金融工具』之適用」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 9「金融工具」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 9 及 IFRS 7 之修正「強制生效日及過渡揭露」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	未定
IFRS 15「客戶合約之收入」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 15 之修正「IFRS 15 之闡釋」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 16「租賃」	2019 年 1 月 1 日
IAS 7 之修正「揭露倡議」	2017 年 1 月 1 日
IAS 12 之修正「未實現損失之遞延所得稅資產之認列」	2017 年 1 月 1 日
IAS 40 之修正「投資性不動產之轉換」	2018 年 1 月 1 日
IFRIC 22「外幣交易與預收付對價」	2018 年 1 月 1 日

註 1：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

註 2： IFRS 12 之修正係追溯適用於 2017 年 1 月 1 日以後開始之年度期間；IAS 28 之修正係追溯適用於 2018 年 1 月 1 日以後開始之年度期間。

1. IFRS 9「金融工具」

<u>金融資產之認列及衡量</u>

就金融資產方面，所有原屬於 IAS 39「金融工具：認列與衡量」範圍內之金融資產後續衡量係以攤銷後成本衡量或以公允價值衡量。IFRS 9 對金融資產之分類規定如下。

合併公司投資之債務工具，若其合約現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息，分類及衡量如下：

(1) 以收取合約現金流量為目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以攤銷後成本衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益認列於損益。

(2) 藉由收取合約現金流量與出售金融資產而達成目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益與兌換損益亦認列於損益，其他公允價值變動則認列於其他綜合損益。於該金融資產除列或重分類時，原先累積於其他綜合損益之公允價值變動應重分類至損益。

合併公司投資非屬前述條件之金融資產，係以公允價值衡量，公允價值變動認列於損益。惟合併公司得選擇於原始認列時，將非持有供交易之權益投資指定為透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產除股利收益認列於損益外，其他相關利益及損失係認列於其他綜合損益，後續無須評估減損，累積於其他綜合損益之公允價值變動亦不重分類至損益。

金融資產之減損

IFRS 9 改採用「預期信用損失模式」認列金融資產之減損。以攤銷後成本衡量之金融資產、強制透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產、應收租賃款、IFRS 15「客戶合約之收入」產生之合約資產或放款承諾及財務保證合約，係認列備抵信用損失。若前述金融資產之信用風險自原始認列後並未顯著增加，則其備抵信用損失係按未來 12 個月之預期信用損失衡量。若前述金融資產之信用風險自原始認列後已顯著增加且非低信用風險，則其備抵信用損失係按剩餘存續期間之預期信用損失衡量。但未包括重大財務組成部分之應收帳款必須按存續期間之預期信用損失衡量備抵信用損失。

此外，原始認列時已有信用減損之金融資產，合併公司考量原始認列時之預期信用損失以計算信用調整後之有效利率，後續備抵信用損失則按後續預期信用損失累積變動數衡量。

一般避險會計

IFRS 9 在一般避險會計之主要改變，係調整避險會計之適用條件，以使適用避險會計之財務報表更能反映企業實際進行的風險管理活動。與 IAS 39 相較，其主要修正內容包括：(1)增加可適用避險會計之交易型態，例如放寬非財務風險適用避險會計之條件；(2)修改避險衍生工具之損益認列方式，以減緩損益波動程度；及(3)避險有效性方面，以避險工具與被避險項目間的經濟關係取代實際有效性測試。

過渡規定

IFRS 9 生效時，首次適用日前已除列之項目不得適用。金融資產之分類、衡量與減損應追溯適用，惟合併公司無須重編比較期間，並將首次適用之累積影響數認列於首次適用日。一般避險會計應推延適用，惟避險選擇權之損益認列則須追溯適用。

2. IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」

該修正規定，若合併公司出售或投入資產予關聯企業（或合資），或合併公司喪失對子公司之控制，但保留對該子公司之重大影響（或聯合控制），若前述資產或前子公司符合 IFRS 3「業務」之定義時，合併公司係全數認列該等交易產生之損益。

此外，若合併公司出售或投入資產予關聯企業（或合資），或合併公司在與關聯企業（或合資）之交易中喪失對子公司之控制，但保留對該子公司之重大影響（或聯合控制），若前述資產或前子公司不符合 IFRS 3「業務」之定義時，合併公司僅在與投資者對該等關聯企業（或合資）無關之權益範圍內認列該交易所產生之損益，亦即，屬合併公司對該損益之份額者應予以銷除。

3. IFRS 15「客戶合約之收入」及相關修正

IFRS 15 係規範來自客戶合約之收入認列原則，該準則將取代 IAS 18「收入」、IAS 11「建造合約」及相關解釋。

合併公司於適用 IFRS 15 時，係以下列步驟認列收入：

(1) 辨認客戶合約；

(2) 辨認合約中之履約義務；

(3) 決定交易價格；

(4) 將交易價格分攤至合約中之履約義務；及

(5) 於滿足履約義務時認列收入。

於辨認履約義務時，IFRS 15 及相關修正規定，若商品或勞務能被區分（例如，經常單獨銷售某一商品或勞務），且移轉商品或勞務之承諾依合約之內涵係可區分（亦即，合約承諾之性質係為個別移轉每一商品或勞務，而非移轉組合產出），則該商品或勞務係可區分。

依合約條款由客戶扣留之工程保留款旨在確保承包商完成所有合約義務，依 IFRS 15 之規定該付款之安排不具重大財務

組成部分。適用 IFRS 15 前，應收工程保留款依 IAS 39 之規定予以折現以反映貨幣時間價值。

因取得合約而發生之增額成本，在預期可回收之範圍內將認列為資產，後續按與收入認列一致之方式予以攤銷，該等規定將使若干客戶取得成本延後認列為費用。

除保證產品與所協議之規格相符外，合併公司亦提供勞務類型之保固服務，依 IFRS 15 規定該勞務將視為一履約義務，分攤至勞務類型之保固之交易價格於後續提供保固服務時認列為收入，並認列相關成本。適用 IFRS 15 前，前述交易之交易價格全數於銷售產品時認列收入，並同時認列產品保固成本及負債準備。

IFRS 15 及相關修正生效時，合併公司得選擇追溯適用至比較期間或將首次適用之累積影響數認列於首次適用日。

4. IFRS 16「租賃」

IFRS 16 係規範租賃之會計處理，該準則將取代 IAS 17「租賃」及相關解釋。

於適用 IFRS 16 時，若合併公司為承租人，除低價值標的資產租賃及短期租賃得選擇採用類似 IAS 17 之營業租賃處理外，其他租賃皆應於合併資產負債表上認列使用權資產及租賃負債。合併綜合損益表應分別表達使用權資產之折舊費用及租賃負債按有效利息法所產生之利息費用。在合併現金流量表中，償付租賃負債之本金金額表達為籌資活動，支付利息部分則列為營業活動。

對於合併公司為出租人之會計處理預計無重大影響。

IFRS 16 生效時，合併公司得選擇追溯適用至比較期間或將首次適用之累積影響數認列於首次適用日。

5. IAS 12 之修正「未實現損失之遞延所得稅資產之認列」

IAS 12 之修正主要係釐清，不論合併公司預期透過出售或透過收取合約現金流量回收以公允價值衡量之債務工具投資，

且不論該資產是否發生未實現損失，暫時性差異應按該資產公允價值及課稅基礎之差額決定。

此外，除非稅法限制可減除暫時性差異所能減除之收益類型而應就同類型可減除暫時性差異評估是否認列遞延所得稅資產，否則應就所有可減除暫時性差異一併評估。於評估是否認列遞延所得稅資產時，若有足夠證據顯示合併公司很有可能以高於帳面金額回收資產，則估計未來課稅所得所考慮之資產回收金額不限於其帳面金額，且未來課稅所得之估計應排除因可減除暫時性差異迴轉所產生之影響。

6. 2014-2016 週期之年度改善

2014-2016 週期之年度改善修正 IFRS 12「對其他個體之權益之揭露」及 IAS 28「投資關聯企業及合資」等準則。

IFRS 12 之修正係釐清，除對於分類為待出售或包含於待出售處分群組中之對子公司、合資或關聯企業之權益，無須依 IFRS 12 之規定揭露該子公司、合資或關聯企業之彙總性財務資訊外，合併公司對於分類為待出售或包含於待出售處分群組之對子公司、合資或關聯企業之權益之揭露，均應依 IFRS 12 之規定處理。

IAS 28 之修正係釐清，當合併公司對關聯企業或合資之投資係直接或間接透過屬創業投資組織或共同基金、單位信託及類似個體（包括與投資連結之保險基金）之個體所持有，得於原始認列每一關聯企業或合資時，分別選擇透過損益按公允價值衡量該等投資。

7. IAS 40 之修正「投資性不動產之轉換」

該修正釐清，合併公司僅當不動產符合（或不再符合）投資性不動產定義，且有用途改變證據時，始應將不動產轉入或轉出投資性不動產。僅因管理階層對不動產使用意圖之改變不能作為用途改變之證據。此外，該修正釐清用途改變之證據不限於 IAS 40 所列之情形。

合併公司得選擇自首次適用之年度期間開始日推延適用上述修正，並依首次適用日存在之情況於必要時將不動產重分類，合併公司亦須額外揭露重分類金額，並將首次適用日之重分類納入投資性不動產帳面金額之調節。合併公司亦得選擇在不使用後見之明之前提下追溯適用該修正。

8. IFRIC 22「外幣交易與預收付對價」

IAS 21 規定外幣交易之原始認列，應以外幣金額依交易日功能性貨幣與外幣間之即期匯率換算為功能性貨幣記錄。IFRIC 22 進一步說明若企業於原始認列非貨幣性資產或負債前已預付或預收對價，應以原始認列預收付對價之日作為交易日。若企業分次預收付對價，應分別決定每次預收付對價之交易日。

合併公司得選擇追溯適用 IFRIC 22，或自首次適用日或首次適用 IFRIC 22 之財務報告比較期間開始日推延適用 IFRIC 22。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估其他準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、<u>重大會計政策之彙總說明</u>

(一) 遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可並發布生效之 IAS 34「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有 IFRSs 揭露資訊。

(二) 編製基礎

除按公允價值衡量之金融工具及按確定福利義務現值減除計畫資產公允價值認列之淨確定福利負債外，本合併財務報告係依歷史成本基礎編製。

公允價值衡量依照相關輸入值之可觀察程度及重要性分為第 1 等級至第 3 等級：

1. 第 1 等級輸入值：係指於衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價（未經調整）。

2. 第 2 等級輸入值：係指除第 1 等級之報價外，資產或負債直接（亦即價格）或間接（亦即由價格推導而得）之可觀察輸入值。

3. 第 3 等級輸入值：係指資產或負債之不可觀察之輸入值。

(三) 合併基礎

子公司明細、持股比率及營業項目，請參閱附註十三「子公司」附註及附表六。

(四) 其他重大會計政策

除下列說明外，請參閱 105 年度合併財務報告之重大會計政策彙總說明。

1. 確定福利退職後福利

期中期間之退休金成本係採用前一年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算，並針對本期之重大市場波動，及重大計畫修正、清償或其他重大一次性事項加以調整。

2. 所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中稅前利益予以計算。

(五) 重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

請參閱 105 年度合併財務報告之重大會計判斷、估計及假設不確定性主要來源說明。

六、現金及約當現金

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
庫存現金及週轉金	$ 1,582	$ 1,001	$ 2,291
銀行支票及活期存款	215,596	288,169	407,256
約當現金（原始到期日在3個月以內之投資）			
銀行定期存款	559,286	587,438	800,258
	$ 776,464	$ 876,608	$ 1,209,805

銀行存款於資產負債表日之利率區間如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
銀行存款	0.001%~4.1%	0.001%~9.00%	0.001%~4.0%

七、透過損益按公允價值衡量之金融工具

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
金融資產－流動			
指定透過損益按公允價值衡量之金融資產			
－結構式存款(一)	$ -	$ -	$ 99,512
金融負債－流動			
持有供交易			
衍生工具(未指定避險)			
－匯率選擇權(二)	$ -	$ -	$ 967
－遠期外匯合約	-	-	-
	$ -	$ -	$ 967

(一) 合併公司與銀行簽訂之結構式定期存款合約，該結構式定期存款包括一項非與主契約緊密關聯之嵌入式衍生工具。

(二) 於資產負債表日未適用避險會計且尚未到期之匯率選擇權合約如下：

	幣別	到期期間	合約金額
105年3月31日			
個別式選擇權	台幣兌美金	105.4.14	NTD32,500仟元/USD1,000仟元
個別式選擇權	台幣兌美金	105.4.20	NTD32,500仟元/USD1,000仟元
個別式選擇權	台幣兌美金	105.4.20	NTD32,500仟元/USD1,000仟元

合併公司於106年3月31日及105年12月31日無未適用避險會計且尚未到期之匯率選擇權合約。

(三) 合併公司從事外幣選擇權合約交易之目的，主要係為規避外幣資產及負債因匯率波動產生之風險。

合併公司持有之外幣選擇權合約因不符合有效避險條件，故不適用避險會計。

透過損益按公允價值衡量之金融工具質押之資訊，參閱附註三四。

八、備供出售金融資產

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
流　動			
國內投資			
基金受益憑證	$ 9,025	$ 14,028	$ 79,669
非流動			
國內投資			
未上市（櫃）股票	$ 37,354	$ 46,776	$ -

九、無活絡市場之債務工具投資

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
流　動			
原始到期日超過3個月之定期存款	$ 30,653	$ 46,788	$ 242,519
非流動			
原始到期日超過3個月之定期存款	$ 10,816	$ 10,992	$ 10,473

截至106年3月31日暨105年12月31日及3月31日止，原始到期日超過3個月之定期存款利率區間分別為年利率0.48%～8%、0.48%～8.00%及0.48%～1.96%。

無活絡市場之債務工具投資質押之資訊，請參閱附註三四。

十、應收票據、應收帳款及其他應收款

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
應收票據			
因營業而發生	$ 170,571	$ 329,558	$ 188,908
非因營業而發生	-	-	-
減：備抵呆帳	(5,644)	(6,514)	-
	$ 164,927	$ 323,044	$ 188,908
應收帳款			
應收帳款	$ 575,287	$ 614,135	$ 818,324
應收帳款－關係人	487	5,250	-
減：備抵呆帳	(37,045)	(40,229)	(911)
	$ 538,729	$ 579,156	$ 817,413

（接次頁）

（承前頁）

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
其他應收款			
應收營業稅退稅款	$ 19,675	$ 21,880	$ 36,428
應收處分不動產、廠房及設備款	7,333	-	8,466
應收代付款	1,070	-	6,884
應收進貨折讓款	30,092	30,795	32,846
應收放款－固定利率	594,945	577,125	-
應收放款－利息	23,662	14,631	-
其他應收關係人款	65	-	-
其　　他	11,701	1,751	2,970
	$ 688,543	$ 646,182	$ 87,594

(一) 應收帳款及票據

合併公司對商品銷售之平均授信期間為 30 天至 90 天，對應收帳款皆不予計息。於決定應收帳款可回收性時，合併公司考量應收帳款自原始授信日至資產負債表日信用品質之任何改變。由於歷史經驗顯示逾期超過 1 年之應收帳款無法回收，合併公司對於帳齡超過 1 年之應收帳款認列 100%備抵呆帳，對於帳齡在 30 天至 360 天之間之應收帳款，其備抵呆帳係參考交易對方過去拖欠記錄及分析其目前財務狀況，以估計無法回收之金額。

於資產負債表日已逾期但合併公司尚未認列備抵呆帳之應收帳款，因其信用品質並未重大改變，合併公司管理階層認為仍可回收其金額或合併公司對該等應收帳款已於期後收款、存入保證金或其他信用增強保障。

應收帳款（含催收款）之帳齡分析如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
0～60 天	$ 537,468	$ 590,347	$ 722,330
61～90 天	14,892	29,038	95,994
91～180 天	7,596	-	-
181～365 天	15,818	-	-
365 天以上	75,809	75,858	75,941
合　　計	$ 651,583	$ 695,243	$ 894,265

已逾期但未減損應收帳款之帳齡分析如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
60天以下	$ 4,614	$ -	$ -
61至90天	85	-	-
91至180天	-	-	-
181天以上	4,407	-	-
合　計	$ 9,106	$ -	$ -

以上係以逾期天數為基準進行之帳齡分析。

應收帳款、應收票據及催收款之備抵呆帳變動資訊如下：

	個別評估減損損失	群組評估減損損失	合　計
105年1月1日餘額	$ 75,947	$ 11,414	$ 87,361
減：本期迴轉呆帳費用	-	(10,616)	(10,616)
外幣換算差額	(6)	113	107
105年3月31日餘額	$ 75,941	$ 911	$ 76,852
106年1月1日餘額	$ 75,858	$ 46,743	$ 122,601
加：本期迴轉呆帳費用	-	(2,007)	(2,007)
外幣換算差額	(49)	(2,047)	(2,096)
106年3月31日餘額	$ 75,809	$ 42,689	$ 118,498

催收款項帳列其他非流動資產項下。

截至106年3月31日暨105年12月31日及3月31日止，個別判定已減損應收帳款金額分別為75,809仟元、75,858仟元及75,941仟元。合併公司對該等應收帳款餘額並未持有任何擔保品。

已個別減損應收帳款之帳齡分析如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
60天以下	$ -	$ -	$ -
61至90天	-	-	-
91至180天	-	-	-
181天以上	75,809	75,858	75,941
合　計	$ 75,809	$ 75,858	$ 75,941

以上係以扣除備抵呆帳前之餘額，以逾期天數為基準進行帳齡分析。

(二) 其他應收款－應收放款

合併公司固定利率應收放款之利率暴險及合約到期日如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
固定利率應收放款			
不超過1年	$ 594,945	$ 577,125	$ -

應收放款係屬個別重大，每一應收放款之條款及條件係採單獨表達。

應收放款之內容如下：

	到期日	擔保品	有效利率	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
人民幣37,000仟元固定利率應收放款	106年4月26日，105年已提前還款26,000仟元	無	4.35%	$ 48,477	$ 50,787	$ -
人民幣20,000仟元固定利率應收放款	106年6月7日	無	4.35%	88,140	92,340	-
人民幣7,000仟元固定利率應收放款	106年6月29日	無	4.35%	30,849	32,319	-
人民幣10,000仟元固定利率應收放款	107年2月20日	無	4.35%	44,070	-	-
人民幣47,000仟元固定利率應收放款	106年7月7日	無	8%	207,129	216,999	-
人民幣10,000仟元固定利率應收放款	106年9月22日	無	8%	44,070	46,170	-
人民幣10,000仟元固定利率應收放款	106年10月11日	無	8%	44,070	46,170	-
人民幣20,000仟元固定利率應收放款	106年12月22日	無	8%	88,140	92,340	-
				$ 594,945	$ 577,125	$ -

(三) 其他應收款

合併公司對其他應收款均不予計息。於決定其他應收款可回收性時，合併公司考量其他應收款自原始授信日至資產負債表日信用品質之任何改變。由於歷史經驗顯示逾期超過 360 天之其他應收款無法回收，合併公司對於帳齡超過360天之其他應收款認列100%備抵呆帳，對於帳齡在 0 天至 360 天之間之其他應收款，其備抵呆帳係參考交易對方過去拖欠記錄及分析其目前財務狀況，以估計無法回收之金額。

於 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日資產負債表日合併公司帳列無已逾期但尚未認列備抵呆帳之其他應收款。

十一、應收（付）建造合約款

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
應收建造合約款			
累計已發生成本及已認列利潤（減除已認列損失）	$ 9,276	$ 38,253	$ 742
減：累計工程進度請款金額	(811)	(81)	(60)
應收建造合約款	$ 8,465	$ 38,172	$ 682
應付建造合約款			
累計工程進度請款金額	$ 3,553	$ 398	$ 397
減：累計已發生成本及已認列利潤（減除已認列損失）	(811)	(81)	(60)
應付建造合約款	$ 2,742	$ 317	$ 337

合併公司於 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日尚未認列建造合約收入。

十二、存　　貨

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
製成品	$ 155,943	$ 80,868	$ 257,351
在製品	91,359	105,816	205,863
原物料	49,049	81,616	193,094
在途存貨	60,401	22,959	81,374
	$ 356,752	$ 291,259	$ 737,682

106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日與存貨相關之銷貨成本分別為 1,370,566 仟元及 1,827,127 仟元。

106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之銷貨成本包括存貨跌價損失 39,342 仟元及長期預付貨款減損損失 6,156 仟元；105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之銷貨成本分別包括存貨跌價損失 5,659 仟元及長期預付貨款減損回升利益 6,144 仟元。

106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之長期預付貨款減損損失(回升利益)，請參閱附註十六及三五之說明。

十三、子公司

列入合併財務報告之子公司

本合併財務報告編製主體如下：

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比 106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	投資業務	100	100	100
太極能源科技股份有限公司	承陽能源股份有限公司	太陽能發電系統銷售業務	100	100	100
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技日本株式會社（於105年5月31日清算）	太陽能產品、自動化設備及電子代工產品等銷售業務	-	-	100
太極能源科技股份有限公司	VIETNERGY有限責任公司	生產高科技太陽能電池及相關電池組件	100	100	100
太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	研發、設計及生產高技術綠色電池（太陽能電池及相關電池組件）	100	100	100

太極能源科技日本株式會社、VIETNERGY 及承陽能源股份有限公司係非重要子公司，其財務報表未經會計師核閱。

106 年及 105 年 3 月 31 日之子公司承陽能源股份有限公司、太極能源科技日本株式會社及 VIETNERGY 有限責任公司皆非重要子公司，其財務報表未經會計師核閱，其 106 年及 105 年 3 月 31 日資產總額分別為 1,499,017 仟元及 1,051,772 仟元，佔合併資產總額之 20.74%及 12.98%，負債總額為 151,138 仟元及 382,305 仟元，佔合併負債總額之 6.50%及 14.57%，綜合損益為損失 52,297 仟元及 47,675 仟元，佔綜合損益總額之 12.91%及(33.51%)。

合併公司之子公司太極能源科技日本株式會社已於 105 年 5 月 31 日清算完成。

十四、不動產、廠房及設備

成本	土地改良物	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	租賃改良	其他設備	未完工程	合計
105年1月1日餘額	$ -	$ 517,155	$ 4,603,887	$ 7,061	$ 41,683	$ 597,838	$ 11,387	$ 127,867	$ 5,906,878
增添	-	134	15,569	-	873	370	1,473	1,825	20,244
處分	-	-	(3,379)	(19)	-	-	(8)	-	(3,406)
重分類	74,805	-	4,133	5,300	1,366	-	1,453	(78,839)	8,218
淨兌換差額	-	(2,381)	(38,790)	(97)	(293)	(1,023)	(201)	(3,427)	(46,212)
105年3月31日餘額	$ 74,805	$ 514,908	$ 4,581,420	$ 12,245	$ 43,629	$ 597,185	$ 14,104	$ 47,426	$ 5,885,722

（接次頁）

（承前頁）

	土地改良物	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	租賃改良	其他設備	未完工程	合計
累計折舊及減損									
105年1月1日餘額	$ -	$ 85,198	$ 2,286,326	$ 5,120	$ 30,480	$ 377,529	$ 4,047	$ -	$ 2,788,700
折舊費用	947	6,617	131,145	250	1,370	17,326	579	-	158,234
處分	-	-	(49)	(19)	-	-	(8)	-	(76)
重分類	-	-	-	-	-	-	-	-	-
淨兌換差額	(15)	(494)	(25,724)	(27)	(124)	(505)	(74)	-	(26,963)
105年3月31日餘額	$ 932	$ 91,321	$ 2,391,698	$ 5,324	$ 31,726	$ 394,350	$ 4,544	$ -	$ 2,919,895
105年1月1日及104年12月31日淨額	$ -	$ 431,957	$ 2,317,561	$ 1,941	$ 11,203	$ 220,309	$ 7,340	$ 127,867	$ 3,118,178
105年3月31日淨額	$ 73,873	$ 423,587	$ 2,189,722	$ 6,921	$ 11,903	$ 202,835	$ 9,560	$ 47,426	$ 2,965,827
成本									
106年1月1日餘額	$ 69,464	$ 484,400	$ 5,211,475	$ 11,757	$ 48,952	$ 752,650	$ 28,718	$ 14,943	$ 6,622,359
增添	-	-	89,421	-	172	30,606	2,060	951	123,210
處分	-	-	(1,946)	-	(6)	-	(7,503)	-	(9,455)
重分類	-	516	346,240	-	-	49,317	12,539	(12,827)	395,785
淨兌換差額	(3,160)	(22,032)	(22,690)	(344)	(852)	(11,030)	(1,468)	(883)	(62,459)
106年3月31日餘額	$ 66,304	$ 462,884	$ 5,622,550	$ 11,413	$ 48,266	$ 821,543	$ 34,346	$ 2,184	$ 7,069,440
累計折舊及減損									
106年1月1日餘額	$ 3,460	$ 103,043	$ 2,787,241	$ 6,189	$ 36,454	$ 460,414	$ 8,382	$ -	$ 3,405,183
折舊費用	848	6,019	132,176	300	1,649	19,783	1,678	-	162,453
處分	-	-	(2,149)	-	(6)	-	-	-	(2,155)
重分類	-	-	-	-	-	-	-	-	-
淨兌換差額	(180)	(4,849)	48,902	(179)	(482)	(1,663)	(486)	-	41,063
106年3月31日餘額	$ 4,128	$ 104,213	$ 2,966,170	$ 6,310	$ 37,598	$ 478,534	$ 9,574	$ -	$ 3,606,544
106年1月1日及105年12月31日淨額	$ 66,004	$ 381,357	$ 2,424,234	$ 5,568	$ 12,498	$ 292,236	$ 20,336	$ 14,943	$ 3,217,176
106年3月31日淨額	$ 62,176	$ 358,671	$ 2,656,330	$ 5,103	$ 10,651	$ 343,009	$ 24,772	$ 2,184	$ 3,462,896

合併公司之不動產、廠房及設備係以直線基礎按下列耐用年數計提折舊：

土地改良物	20年
房屋及建築	20年
機器設備	
太陽能發電設備	20年
系統設備工程	18年
太陽能設備	3至10年
儀器設備	3至8年
運輸設備	5至8年
辦公設備	2至7年
租賃改良	2至8年
其他設備	3至10年

合併公司設定作為借款擔保之不動產、廠房及設備金額，請參閱附註三四。

十五、預付租金

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
流動	$ 3,521	$ 3,689	$ 3,972
非流動	144,650	152,465	167,167
	$ 148,171	$ 156,154	$ 171,139

截至 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日止，預付租金係位於中國大陸之土地使用權。

合併公司設定質押作為借款擔保之預付租金金額，請參閱附註三四。

十六、其他資產

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
流　動			
預付貨款及費用(附註三五)	$ 116,454	$ 167,032	$ 198,584
進項稅額	10,533	14,055	-
留抵稅額	57,564	67,908	68,653
其他金融資產－受限制活期存款（附註三四）	3,788	22,392	5,130
	$ 188,339	$ 271,387	$ 272,367
非 流 動			
預付設備款	$ 147,749	$ 488,945	$ 623,776
存出保證金（附註三四及三五）	295,211	297,792	377,389
其他非流動資產			
長期預付貨款（附註三五）	100,695	109,906	133,079
其他金融資產－受限制活期存款(附註三四)	65,000	65,000	-
其他非流動資產－其他	38	-	175
催收款項（附註十）	75,809	75,858	75,941
備抵呆帳－催收款項	(75,809)	(75,858)	(75,941)
	$ 608,693	$ 961,643	$ 1,134,419

(一) 預付貨款及長期預付貨款

合併公司之預付貨款及長期預付貨款，主係與中美矽晶製品股份有限公司簽訂購料合約，依合約規定支付的預付貨款。

截至 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日長期預付貨款已分別提列累積減損損失 68,372 仟元、62,216 仟元及 53,544 仟元，請參閱附註三五之說明。106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日長期預付貨款減損損失為 6,156 仟元及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日長期預付貨款減損回升利益為 6,144 仟元帳列營業成本，請參閱附註十二之說明。

(二) 預付設備款

合併公司之預付設備款，係為購置供應商品或勞務之生產使用之不動產、廠房及設備，依訂購合約預先支付之款項。

(三) 存出保證金

合併公司存出保證金，主係與 SunEdison Products Singapore Pte, Ltd.（原名 MEMC Singapore Pte,Ltd.）簽訂購料合約，依合約規定支付的可扣抵進貨款購料保證金及支付不可退回之保證金。截至 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日可扣抵進貨款購料保證金餘額分別為 288,009 仟元、288,009 仟元及 323,146 仟元。

截至 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日止，存出保證金已提列減損損失 760,763 仟元，請參閱附註三五之說明。

(四) 催收款

合併公司催收款係逾期 1 年以上之應收款項，已認列 100%備抵呆帳，請參閱附註十之說明。

(五) 其他金融資產－受限制活期存款

合併公司其他金融資產－受限制活期存款，主係提供向銀行申請開立承兌匯票所質押之活期存款，請參閱附註三四之說明。

十七、借　　款

(一) 短期借款

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
無擔保借款			
信用額度借款	$ 389,144	$ 264,000	$ 56,000
擔保借款（附註三四及三五）			
銀行借款	45,608	64,056	326,082
台灣銀行等 11 行庫聯貸案－乙項	328,267	328,179	-
	$ 763,019	$ 656,235	$ 382,082

銀行週轉性借款之利率於 106 年 3 月 31 日暨 105 年 12 月 31 日及 3 月 31 日分別為 1.26%～3.5%、1.40%～3.83%及 1.89%～5.671%。

合併公司於 105 年 3 月 31 日違反銀行短期借款之特定條款，該特定條款主係與合併公司之流動性比率有關，該借款於 105 年 3 月

31 日之帳面金額為 229,706 仟元，該條款無相關懲罰性規定，惟可能影響未來之借款成本。

(二) 應付短期票券

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
應付商業本票	$ 50,000	$ -	$ -

尚未到期之應付短期票券如下：

106 年 3 月 31 日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
台中商業銀行	$50,000	$ -	$50,000	1.258%	-	$ -

台中商業銀行之應付商業本票係屬未附息之應付短期票券，因折現之影響不大，故以原始票面金額衡量。

(三) 長期借款

	到期日	重大條款	有效利率	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
擔保借款（附註三四及三五）						
台灣中小企業銀行	106年9月29日（於105年5月25日提前償還）	借款總額 100,000 仟元，自 103 年 9 月 29 日起，分 36 期攤還本息。	2.61%	$ -	$ -	$ 49,986
CHAILEASE INTERNATIONAL FINANCIAL SERVICES CO., LTD. (1)	106年3月6日	借款總額 USD6,000 仟元，自 104 年 3 月 6 日起，第 1 年每半年為 1 期，第 2 年起每 3 個月為 1 期，按期攤還本息。(105 年 5 月退還保證金)	3.436%	-	32,028	128,500
CHAILEASE INTERNATIONAL FINANCIAL SERVICES CO., LTD. (2)	106年3月11日	借款總額 USD2,000 仟元，自 104 年 3 月 11 日起，第 1 年每半年為 1 期，第 2 年起每 3 個月為 1 期，按期攤還本息。(105 年 5 月退還保證金)	3.432%	-	10,665	42,791
台灣銀行等 11 行庫聯貸－甲項	108年5月24日	借款總額 USD6,600 仟元及 EUR3,600 仟元，自 105 年 6 月 6 日起每月償還利息，於到期日一次償還本金。	2.01% ~2.48%	315,193	332,723	-
無擔保借款						
CHAILEASE FINANCE (B.V.I) COMPANY, LTD. (2)	105年9月13日（於105年5月25日提前償還）	借款總額 USD6,000 仟元，自 103 年 3 月 13 日起，每 3 個月為一期，分 10 期攤還本息。	2.782%	-	-	38,550
減：一年內到期之長期借款				-	(42,693)	(243,165)
				$ 315,193	$ 332,723	$ 16,662

合併公司為長期借款而提供質（抵）押擔保及開立保證票據之情形，請參閱附註三四及三五。

十八、應付票據及應付帳款

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
應付票據			
因營業而發生	$ 86,807	$ 133,874	$ 185,020
非因營業而發生	-	583	1,701
	$ 86,807	$ 134,457	$ 186,721
應付帳款			
因營業而發生	$ 464,692	$ 560,372	$ 628,341

應付帳款

購買原物料及商品之平均賒帳期間為 30～120 天，帳列應付帳款均不加計利息。合併公司定期檢視尚未付款狀況，以確保所有應付款於預先約定之信用期限內償還。

十九、其他負債

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
流　動			
其他應付款			
應付設備款	$ 115,317	$ 100,636	$ 183,426
應付代購設備款	48,750	-	-
應付關係人借款(一)	-	-	394,691
應付薪資及獎金	35,749	62,511	48,588
應付員工紅利及董監酬勞	-	-	70,033
其　他	199,579	170,810	209,271
	$ 399,395	$ 333,957	$ 906,009
非流動			
遞延收入			
政府補助(二)	$ 172,947	$ 180,801	$ 196,125

(一) 合併公司與關係人借款相關資訊請參閱附註三三。

(二) 合併公司取得政府補助並產生相關之遞延收入，請參閱附註二七。

二十、負債準備

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
非流動			
保固	$ 3,203	$ 2,816	$ 906

保固負債準備係依銷售商品合約約定，合併公司管理階層對於因保固義務所導致未來經濟效益流出最佳估計數之現值。該估計係以歷史保固經驗為基礎，並考量新原料、製程變動或其他影響產品品產等因素調整。

二一、退職後福利計畫

106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日認列之確定福利計畫相關退休金費用係以 105 年及 104 年 12 月 31 日精算決定之退休金成本率計算，金額分別為 102 元及 125 仟元。

二二、權　益

(一) 股　本

普通股

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
額定股數（仟股）	400,000	400,000	400,000
額定股本	$ 4,000,000	$ 4,000,000	$ 4,000,000
已發行且已收足股款之股數（仟股）	356,545	356,545	316,545
已發行股本	$ 3,565,450	$ 3,565,450	$ 3,165,450

已發行之普通股每股面額為 10 元，每股享有一表決權及收取股利之權利。

額定股本中供發行可轉換公司債及員工認股權憑證所保留之股本合計為 2,000 仟股。

為充實營運資金及償還銀行借款，本公司於 105 年 2 月 19 召開之董事會決議依 104 年 6 月 30 日股東常會之授權，辦理現金增資發行普通股 5,000 萬股內，每股面額新台幣 10 元整，採詢價圈購方式辦理公開承銷。上述現金增資案業經金融監督管理委員會證券期貨局於 105 年 3 月 25 日核准申報生效。公司決議現金增資發行普通股

40,000 仟股，每股發行價格為 17.33 元，以 105 年 4 月 21 日為增資基準日。

(二) 資本公積

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
得用以彌補虧損、發放現金或撥充股本			
股票發行溢價	$ 2,007,712	$ 2,007,712	$ 1,709,032

此類資本公積得用以彌補虧損，亦得於公司無虧損時，用以發放現金股利或撥充股本，惟撥充股本時每年以實收股本之一定比率為限。

(三) 保留盈餘及股利政策

依 104 年 5 月公司法之修正，股息及紅利之分派限於股東，員工非屬盈餘分派之對象。本公司已於 104 年 6 月 30 日股東常會決議通過修正章程之盈餘分派政策，並於章程中另外訂定員工酬勞之分派政策。

修正後章程之盈餘分派政策規定，本公司年度總決算如有盈餘，應先提繳稅款、彌補累積虧損，次提 10%為法定盈餘公積，但法定盈餘公積已達本公司實收資本額時，得不再提列，其餘再依法令或主管機關規定提列或迴轉特別盈餘公積；如尚有餘額，併同期初累積未分配盈餘及「當年度未分配盈餘調整數額」，由董事會擬具分配案提請股東會承認之。修正後章程之員工及董監事酬勞分派政策，參閱附註二四之(六)員工酬勞及董監事酬勞。

本公司所營事業目前處於營運成長階段，須以保留盈餘因應營運成長及投資需求之資金，現階段採取剩餘股利政策，並考量平衡股利以不低於當年度稅後淨利之 50%分配，但董事會得考量公司實際資金狀況後，擬具分配議案提請股東會決議。

另依據本公司章程規定，盈餘之分派採現金股利及股票股利兩種方式配合發放，惟其中現金股利不低於股利總額 20%，但股東會得視未來資金規劃調整之。

法定盈餘公積應提撥至其餘額達公司實收股本總額時為止。法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額25%之部分除得撥充股本外，尚得以現金分配。

本公司依金管證發字第 1010012865 號函、金管證發字第 1010047490 號函及金管證發字第 1030006415 號及「採用國際財務報導準則（IFRSs）後，提列特別盈餘公積之適用疑義問答」規定提列及迴轉特別盈餘公積。嗣後其他股東權益減項餘額有迴轉時，得就迴轉部分分派盈餘。

分配未分配盈餘時，除屬非中華民國境內居住者之股東外，其餘股東可獲配按股利分配日之稅額扣抵比率計算之股東可扣抵稅額。

分配未分配盈餘時，除屬非中華民國境內居住者之股東外，其餘股東可獲配按股利分配日之稅額扣抵比率計算之股東可扣抵稅額。

本公司分別於 106 年 3 月 24 日舉行董事會及 105 年 6 月 6 日舉行股東常會，分別擬議及決議通過 105 年及 104 年度盈餘分配案如下：

	盈餘分配案		每股股利（元）	
	105年度	104年度	105年度	104年度
法定盈餘公積	$ -	$ 33,327	$ -	$ -
特別盈餘公積	-	10,965	-	-
現金股利	-	189,927	-	0.6

本公司 106 年 3 月 24 日董事會擬議因 105 年度為稅後淨損且為累積虧損，不予分配；另本公司 105 年度待彌補虧損 95,945 仟元，擬以法定盈餘公積 72,698 仟元及資本公積 23,247 仟元彌補虧損。

有關 105 年之盈餘分配案尚待預計於 106 年 6 月 14 日召開之股東常會決議。

(四) 其他權益項目

除下列項目外，其他權益項目於 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日並無重大變動。

1. 國外營運機構財務報表換算之兌換差額

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
期初餘額	($236,073)	($ 10,965)
換算國外營運機構財務報表所產生之兌換差額	(144,647)	(54,270)
換算國外營運機構財務報表所產生利益之相關所得稅	24,590	9,226
期末餘額	($356,130)	($ 56,009)

2. 備供出售金融資產未實現利益

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
期初餘額	($ 16,626)	$ -
備供出售金融資產未實現損益	(9,424)	13
處分備供出售金融資產重分類至損益	-	-
期末餘額	($ 26,050)	$ 13

二三、收　　入

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
商品銷售收入	$1,205,809	$2,128,939

二四、繼續營業單位淨利及其他綜合損益

繼續營業單位淨利項目：

(一) 其他收入

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
利息收入－銀行存款	$ 4,513	$ 4,347
利息收入－其他	10,149	206
政府補助收入（附註二七）	2,019	2,174
	$ 16,681	$ 6,727

(二) 其他利益及損失

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
處分不動產、廠房及設備利益	$ 33	($ 676)
處分備供出售金融資產利益	12	2
淨外幣兌換損失	(50,156)	(12,211)
指定透過損益按公允價值衡量之金融資產評價利益	-	1,180
持有供交易之金融資產利益	-	1,332
持有供交易之金融負債損失	(1,334)	(1,157)
其　　他	1,397	(3,478)
	($ 50,048)	($ 15,008)

(三) 財務成本

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
銀行借款利息	$ 5,754	$ 9,252
向關係人借款利息	-	3,944
	$ 5,754	$ 13,196

利息資本化相關資訊如下：

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
利息資本化金額	$ 1,028	$ 391
利息資本化利率	2.5146%	5.3014%

(四) 折舊及攤銷

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
不動產、廠房及設備	$162,453	$158,234
無形資產	142	639
預付租金	1,096	1,009
合　　計	$163,691	$159,882
折舊費用依功能別彙總		
營業成本	$153,065	$148,432
營業費用	9,388	9,802
	$162,453	$158,234

(接次頁)

（承前頁）

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
攤銷費用依功能別彙總		
營業成本	$ 70	$ 72
推銷費用	3	2
管理費用	1,096	1,567
研發費用	69	7
	$ 1,238	$ 1,648

(五) 員工福利費用

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
短期員工福利	$118,097	$172,047
退職後福利（附註二一）		
確定提撥計畫	2,953	3,120
確定福利計劃	102	125
員工福利費用合計	$121,152	$175,292
依功能別彙總		
營業成本	$ 85,925	$123,950
營業費用	35,227	51,342
	$121,152	$175,292

(六) 員工酬勞及董監事酬勞

依 104 年 5 月修正後公司法及 104 年 6 月經股東會決議之修正章程，本公司係以當年度扣除分派員工及董監酬勞前之稅前利益分別以 5%～15%及 1%～3%提撥員工酬勞及董監事酬勞。106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日估列之員工酬勞及董監事酬勞如下：

估列比例

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
員工酬勞	-	10%
董監事酬勞	-	2%

金　　額

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
員工酬勞	$ -	$ 21,086
董監事酬勞	$ -	$ 4,217

因 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日為稅前虧損，故不擬估列員工酬勞及董監酬勞。

年度合併財務報告通過發布日後若金額仍有變動，則依會計估計變動處理，於次一年度調整入帳。

本公司於 106 年 3 月 24 日及 105 年 3 月 18 日舉行董事會，分別決議通過 105 及 104 年度員工酬勞及董監事酬勞如下：

	105年度		104年度	
	現　金	股　票	現　金	股　票
員工酬勞	$ -	$ -	$ 37,276	$ -
董監事酬勞	-	-	7,455	-

因 105 年度為稅前虧損，經 106 年 3 月 24 日董事會決議不擬分派員工酬勞及董監事酬勞。

105 及 104 年度員工酬勞及董監事酬勞之實際配發金額與 105 及 104 年度合併財務報告認列之金額並無差異。

有關本公司 106 及 105 年董事會決議之員工酬勞及董監事酬勞資訊，請至台灣證券交易所「公開資訊觀測站」查詢。

(七) 非金融資產減損（迴轉利益）損失

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
存貨（包含於營業成本）	$ 39,342	$ 5,659
長期預付貨款（包含於營業成本）	6,156	(6,144)
	$ 45,498	($ 485)

(八) 其他綜合損益項目之重分類調整

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
備供出售金融資產未實現利益（損失）		
當年度產生者	($ 9,412)	$ 15
重分類調整		
一處　分	(12)	(2)
	($ 9,424)	$ 13

二五、<u>繼續營業單位所得稅</u>

(一) 認列於損益之所得稅費用（利益）主要組成項目

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
當期所得稅		
本期產生者	$ 2,737	$ -
遞延所得稅		
本期產生者	(13,112)	(1,382)
認列於損益之所得稅（利益）費用	($ 10,375)	($ 1,382)

(二) 認列於其他綜合損益之所得稅

	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
遞延所得稅		
本年度產生者		
一國外營運機構財務報表之換算	$ 24,590	$ 9,226

(三) 兩稅合一相關資訊

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
未分配盈餘			
86 年度以前未分配盈餘	$ -	$ -	$ -
87 年度以後（待彌補虧損）未分配盈餘	(371,524)	(95,945)	619,859
	($ 371,524)	($ 95,945)	$ 619,859

	106年3月31日（預計）	105年3月31日（實際）
股東可扣抵稅額帳戶餘額	$ 3,933	$ 6,650

	105年度（預計）	104年度（實際）
盈餘分配之稅額扣抵比率	-	1.98%

(四) 所得稅核定情形

本公司之營利事業所得稅申報除 104 年度外，截至 103 年度以前之申報案件業經稅捐稽徵機關核定。

二六、每股盈餘

單位：每股元

	106年1月1日至3月31日	105年1月1日至3月31日
基本每股盈餘		
來自繼續營業單位	($ 0.77)	$ 0.59
稀釋每股盈餘		
來自繼續營業單位	($ 0.77)	$ 0.59

用以計算每股盈餘之盈餘及普通股加權平均股數如下：

本年度淨利

	106年1月1日至3月31日	105年1月1日至3月31日
用以計算基本每股盈餘之淨（損）利	($275,579)	$187,288
用以計算稀釋每股盈餘之淨（損）利	($275,579)	$187,288

股　　數

單位：仟股

	106年1月1日至3月31日	105年1月1日至3月31日
用以計算基本每股盈餘之普通股加權平均股數	356,545	316,545
具稀釋作用潛在普通股之影響：		
員工酬勞或員工分紅	-	2,695
用以計算稀釋每股盈餘之普通股加權平均股數	356,545	319,240

若合併公司得選擇以股票或現金發放員工酬勞，則計算稀釋每股盈餘時，假設員工酬勞將採發放股票方式，並於該潛在普通股具有稀釋作用時計入加權平均流通在外股數，以計算稀釋每股盈餘。於次年度決議員工酬勞發放股數前計算稀釋每股盈餘時，亦繼續考量該等潛在普通股之稀釋作用。

二七、政府補助

合併公司之太極能源科技（昆山）有限公司，97 年於昆山經濟技術開發區設廠製造太陽能電池，該區管理委員會為提供優惠之投資條件並考慮到太極能源科技（昆山）有限公司之投資情況，以及所取得土地使用權之地質情況，同意一次性補助基礎建設費 155,756 仟元，並依土地使用權使用期限 50 年分年攤銷。截至 106 年及 105 年 3 月 31 日止，攤銷後新台幣餘額為 120,180 仟元（人民幣 27,270 仟元）及 138,809 仟元（人民幣 27,918 仟元）帳列長期遞延收入，106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日分別認列收益 734 仟元及 818 仟元。

合併公司之太極能源科技（昆山）有限公司 105 年 9 月及 104 年 9 月分別取得政府一次性補助 813 仟元（人民幣 176 仟元）及 2,060 仟元（人民幣 398 仟元），並依設備耐用年限分別以 5 年及 10 年分期攤。截至 106 年及 105 年 3 月 31 日止，攤銷後新台幣餘額為 1,935 仟元（人民幣 439 仟元）及 1,681 仟元（人民幣 338 仟元）帳列長期遞延收入，106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日認列收益 84 仟元及 51 仟元。

本公司建造桃園中壢廠太陽能發電系統工程，已於 100 年 10 月完成驗收，並獲得經濟部能源局補助款 76,616 仟元，該金額已列為遞延收入，並依太陽能發電系統工程經濟效益年限 16 年分年攤銷轉列損益，截至 106 年及 105 年 3 月 31 日帳列長期遞延收入 50,832 仟元及 55,635 仟元，106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日分別認列收益 1,201 仟元及 1,201 仟元。

二八、非現金交易

合併公司於106年及105年1月1日至3月31日進行下列非現金交易之投資及籌資活動：

(一) 合併公司於106年及105年1月1日至3月31日將預付設備款重分類至不動產、廠房及設備分別為366,078仟元及8,218仟元。

(二) 合併公司於106年1月1日至3月31日將應收建造合約款重分類至不動產、廠房及設備為29,707仟元。

(三) 合併公司於106年1月1日至3月31日購置不動產、廠房及設備之應付設備款及其他應付款－關係人分別增加 68,836 仟元及減少5,405仟元；105年1月1日至3月31日分別減少31,023仟元及0仟元。另合併公司於105年1月1日至3月31日預付設備款增加致其他應付款關係人增加120,007仟元。

(四) 合併公司於106年及105年3月31日日將長期借款重分類至一年內到期之長期借款為0仟元及243,165仟元。

(五) 合併公司於106年及105年1月1日至3月31日處分不動產、廠房及設備未收款以致其他應收款分別增加7,333仟元及減少18,417仟元。

二九、營業租賃協議

營業租賃係承租土地、辦公室及機器設備，租賃期間為2至3年。於租賃期間終止時，本公司對租賃項目並無優惠承購權。

三十、期中營運之季節性或週期性之解釋

太陽能產業具有季節性與地域性之特質，地域性特質是依客戶所在地之日照時間及強度所影響。由於主要客戶大都在歐洲，故季節性與地域性並無太大差異，依歷史經驗可知合併公司之銷貨高峰期約在於每年4月1日至9月30日之夏季期間。

三一、資本風險管理

合併公司進行資本管理以確保集團內各企業能夠於繼續經營之前提下，藉由將債務及權益餘額最適化，以使股東報酬極大化。合併公司之整體策略目前並無變化。

合併公司資本結構係由合併公司之淨債務（即借款減除現金及約當現金）及權益（即股本、資本公積、保留盈餘及其他權益項目）組成。

合併公司主要管理階層每月重新檢視集團資本結構，其檢視內容包括考量各類資本之成本、資金調度及相關風險。合併公司依據主要管理階層之建議，將藉由支付股利、發行新股、買回股份及發行新債或償付舊債等方式平衡其整體資本結構。

三二、金融工具

(一) 公允價值之資訊－非按公允價值衡量之金融工具

1. 帳面金額與公允價值有重大差異之金融資產及金融負債

	106年3月31日		105年12月31日		105年3月31日	
	帳面金額	公允價值	帳面金額	公允價值	帳面金額	公允價值
金融負債						
以攤銷後成本衡量之金融負債：						
長期借款及一年內到期之長期借款	$315,193	$319,784	$375,416	$379,264	$259,827	$260,958

2. 公允價值衡量層級

106 年 3 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
金融負債				
以攤銷後成本衡量之金融負債：				
銀行借款	$ -	$ 319,784	$ -	$ 319,784

104 年 12 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
金融負債				
以攤銷後成本衡量之金融負債：				
銀行借款	$ -	$ 379,264	$ -	$ 379,264

105 年 3 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
金融負債				
以攤銷後成本衡量之金融負債：				
銀行借款	$ -	$ 260,958	$ -	$ 260,958

上述第 2 等級及第 3 等級之公允價值衡量，係依收益法之現金流量折現分析決定。其中第 3 等級公允價值衡量所採用之重大不可觀察輸入值為反映交易對方信用風險之折現率。

(二) 公允價值之資訊－以重覆性基礎按公允價值衡量之金融工具

1. 公允價值層級

106 年 3 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
備供出售金融資產				
基金受益憑證	$ 9,025	$ -	$ -	$ 9,025
未上市（櫃）股票	$ -	$ -	$ 37,354	$ 37,354

105 年 12 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
備供出售金融資產				
基金受益憑證	$ 14,028	$ -	$ -	$ 14,028
未上市（櫃）股票	-	-	46,776	46,776
	$ 14,028	$ -	$ 46,776	$ 60,804

105 年 3 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
結構式存款	$ -	$ 99,512	$ -	$ 99,512
備供出售金融資產				
基金受益憑證	$ 79,669	$ -	$ -	$ 79,669
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
匯率選擇權	$ -	$ -	$ 967	$ 967

106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日無第 1 級與第 2 級公允價值衡量間移轉之情形。

2. 金融工具以第 3 級公允價值衡量之調節

106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

	透過損益按公允價值衡量之金融資產	備供出售權益工具投資	透過損益按公允價值衡量之金融負債
年初餘額	$ -	$ 46,776	$ -
認列於損（益）	-	-	1,334
認列於其他綜合損益（備供出售金融資產未實現損益）	-	(9,422)	-
處分／結清	-	-	(1,334)
年底餘額	$ -	$ 37,354	$ -

105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

	透過損益按公允價值衡量之金融資產	透過損益按公允價值衡量之金融負債
期初餘額	$ -	$ -
認列於損（益）	-	1,157
處分／結清	-	(190)
期末餘額	$ -	$ 967

截至 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日總利益或損失中，與期末持有採第 3 級公允價值衡量之資產與負債相關損益為損失 1,334 仟元及 1,157 仟元。

3. 第 2 等級公允價值衡量之評價技術及輸入值

金融工具類別	評價技術及輸入值
衍生工具－遠期外匯合約	現金流量折現法：按期末之可觀察遠期匯率及合約所訂匯率估計未來現金流量，並以可反映各交易對方信用風險之折現率分別折現。

4. 第 3 等級公允價值衡量之評價技術及輸入值

(1) 衍生工具－匯率選擇權係採用選擇權定價模式估算公允價值，採用之重大不可觀察輸入值為匯率波動率。當匯率波動率增加，該等衍生工具公允價值將會增加。

(2) 未上市（櫃）權益工具之公允價值估計係基於對被投資者財務狀況與營運結果之分析、最近交易價格、類似工具於活絡市場之報價及可比公司評價乘數等，非由可觀察市場價格或利率支持之假設。重大不可觀察輸入值如下，當長期收入成長率增加及長期稅前營業利潤率增加時，該等投資公允價值將會增加。

(三) 金融工具之種類

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
金融資產			
透過損益按公允價值衡量			
指定為透過損益按公允價值衡量	$ -	$ -	$ 99,512
放款及應收款（註1）	2,634,131	2,867,954	2,939,231
備供出售金融資產	46,379	60,804	79,669
金融負債			
透過損益按公允價值衡量			
持有供交易	-	-	967
以攤銷後成本衡量（註2）	2,079,282	1,997,972	2,314,442

註1：餘額係包含現金及約當現金、無活絡市場之債務工具投資、應收票據、應收帳款及其他應收款、存出保證金及其他金融資產－流動及非流動等以攤銷後成本衡量之放款及應收款。

註2：餘額係包含短期借款、應付短期票券、應付票據、應付帳款、其他應付款（不含應付薪資及獎金）、存入保證金及長期借款等以攤銷後成本衡量之金融負債。

(四) 財務風險管理目的與政策

合併公司主要金融工具包括權益及債務工具投資、應收帳款、應付帳款及借款等。合併公司財務風險管理目標，係為管理與營運活動相關之市場風險（包含匯率風險、利率風險及其他價格風險）、信用風險及流動性風險。

合併公司另透過衍生金融工具規避暴險，以減輕該等風險之影響。衍生金融工具之運用受合併公司董事會通過之政策所規範，其為匯率風險、利率風險、信用風險、衍生金融工具與非衍生金融工具之運用以及剩餘流動資金之投資書面原則。內部稽核人員持續地針對政策之遵循與暴險額度進行複核。合併公司並未以投機目的而進行金融工具（包括衍生金融工具）之交易。

1. 市場風險

合併公司之營運活動使合併公司承擔之主要財務風險為外幣匯率變動風險（參閱下述(1)）以及利率變動風險（參閱下述(2)）。合併公司從事各式衍生金融工具以管理所承擔之外幣匯率風險，包括以遠期外匯合約及匯率選擇權規避因收付款及購買原物料之幣別不同而產生之匯率風險。

合併公司有關金融工具市場風險之暴險及其對該等暴險之管理與衡量方式並無改變。

(1) 匯率風險

合併公司從事外幣計價之銷貨與進貨交易，因而使合併公司產生匯率變動暴險。合併公司之銷售額中約有 90%非以發生交易集團個體之功能性貨幣計價，而成本金額中約有 70%非以發生交易集團個體之功能性貨幣計價。合併公司匯率暴險之管理係於政策許可之範圍內，利用遠期外匯合約及匯率選擇權管理風險。

合併公司於資產負債表日非功能性貨幣計價之貨幣性資產與貨幣性負債帳面金額（包含合併財務報表中已沖銷之非功能性貨幣計價之貨幣性項目）以及具匯率風險暴險之衍生工具帳面金額，參閱附註三六。

<u>敏感度分析</u>

合併公司主要受到美金及人民幣匯率波動之影響。

下表詳細說明當新台幣（功能性貨幣）對各攸關外幣之匯率增加及減少 5%時，合併公司之敏感度分析。5%係為公司內部向主要管理階層報告匯率風險時所使用之敏感

度比率，亦代表管理階層對外幣匯率之合理可能變動範圍之評估。敏感度分析僅包括流通在外之外幣貨幣性項目，並將其期末之換算以匯率變動5%予以調整。敏感度分析之範圍包括借款中非以債權人或借款人功能性貨幣計價者。下表之正數係表示當新台幣相對於各相關貨幣貶值 5%時，將使稅前淨損減少或權益增加之金額；當新台幣相對於各相關外幣升值5%時，其對稅前淨損或權益之影響將為同金額之負數。

	美金之影響	
	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
（損）　益	$ 14,649	$ 54,270

	人民幣之影響	
	106年1月1日 至3月31日	105年1月1日 至3月31日
（損）　益	$ 33,859	$ 3,753

(i) 主要源自於合併公司於資產負債表日尚流通在外且未進行現金流量避險之美金及人民幣計價應收、應付款項及借款。

合併公司於本年度對匯率敏感度增加，主係因以美金及人民幣計價之應收帳款增加所致。管理階層認為敏感度分析無法代表匯率固有風險，因資產負債表日之外幣暴險無法反映年中暴險情形。

(2) 利率風險

因合併公司內之個體同時以浮動利率借入資金，因而產生利率暴險。合併公司藉由維持一適當之固定利率組合來管理利率風險。合併公司定期評估避險活動，使其與利率觀點及既定之風險偏好一致，以確保採用最符合成本效益之避險策略。

合併公司於資產負債表日受利率暴險之金融資產及金融負債帳面金額如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
具公允價值利率風險			
一金融資產	$ 600,755	$ 645,218	$ 1,053,250
一金融負債	50,000	-	-
具現金流量利率風險			
一金融資產	284,384	375,561	412,386
一金融負債	1,078,212	1,031,651	641,909

合併公司因持有變動利率銀行借款而面臨現金流量利率風險之暴險。此等情況符合合併公司維持浮動利率借款以降低利率公允價值風險之政策。合併公司之現金流量利率風險主要係因新台幣計價借款相關之指標利率波動。

敏感度分析

下列敏感度分析係依衍生及非衍生工具於資產負債表日之利率暴險而決定。對於浮動利率負債，其分析方式係假設資產負債表日流通在外之負債金額於報導期間皆流通在外。集團內部向主要管理階層報告利率時所使用之變動率為利率增加或減少 1%，此亦代表管理階層對利率之合理可能變動範圍之評估。

若利率增加／減少 1%，在所有其他變數維持不變之情況下，合併公司 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之稅前淨損增加／減少 1,985 仟元及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之稅前淨利減少／增加 574 仟元，主因為合併公司之變動利率借款、銀行存款所面臨現金流量利率風險之暴險。

(3) 其他價格風險

合併公司因受益憑證投資及未上市（櫃）股票而產生證券價格暴險。合併公司管理階層藉由持有不同風險投資組合以管理風險。此外，合併公司指派特定團隊監督價格風險並評估何時須增加被避風險之避險部位。

敏感度分析

下列敏感度分析係依資產負債表日之權益價格暴險進行。

若權益價格上漲／下跌 3%，106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日綜合損益將因備供出售金融資產公允價值之變動分別增加／減少 1,391 仟元及 2,390 仟元。

合併公司 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日對備供出售金融資產價格風險之敏感度降低，主因合併公司於本年度取得之備供出售金融資產較少所致。

2. 信用風險

信用風險係指交易對方拖欠合約義務而造成集團財務損失之風險。截至資產負債表日，合併公司可能因交易對方未履行義務及合併公司提供財務保證造成財務損失之最大信用風險暴險主要係來自於合併資產負債表所認列之金融資產帳面金額。

合併公司採行之政策係多與信譽卓著之對象進行交易，並於必要情形下取得足額之擔保以減輕因拖欠所產生財務損失之風險。另外，合併公司亦使用其他公開可取得之財務資訊及彼此交易記錄對主要客戶進行評等。合併公司持續監督信用暴險以及交易對方之信用評等，於每次出貨前檢視客戶之帳款是否逾期及近期收款狀況，並透過合併公司內部人員監控放行，以降低發生信用風險之可能。此外，合併公司於資產負債表日會逐一複核應收款項之可回收金額以確保無法回收之應收款項已提列適當減損損失。據此，本公司管理階層認為合併公司之信用風險已顯著減少。

應收帳款之對象涵蓋眾多客戶，分散於不同產業及地理區域且相互無關聯，故信用風險之集中度不高。合併公司持續地針對應收帳款客戶之財務狀況進行評估。

3. 流動性風險

合併公司平時係透過定期管理及維持足夠部位之現金及約當現金以支應合併公司營運並減輕現金流量波動之影響。合併公司管理階層監督銀行融資額度使用狀況並確保借款合約條款之遵循。

銀行借款對合併公司而言係為一項重要流動性來源。截至106年3月31日暨105年12月31日及3月31日止，合併公司未動用之融資額度，參閱下列(3)融資額度之說明。

(1) 非衍生金融負債之流動性及利率風險表

非衍生金融負債剩餘合約到期分析係依合併公司最早可能被要求還款之日期，按金融負債未折現現金流量（包含本金及估計利息）編製。因此，合併公司可被要求立即還款之銀行借款，係列於下表最早之期間內，不考慮銀行立即執行該權利之機率；其他非衍生金融負債到期分析係依照約定之還款日編製。

以浮動利率支付之利息現金流量，其未折現之利息金額係依據資產負債表日殖利率推導而得。

106年3月31日

	短於1年	1至3年	4至5年	5年以上
非衍生金融負債				
浮動利率工具				
短期借款	$ 766,808	$ -	$ -	$ -
長期借款	7,304	325,638	-	-
應付短期票券	50,000	-	-	-
無附息負債				
應付票據	86,807	-	-	-
應付帳款	464,692	-	-	-
其他應付款	363,646	-	-	-
存入保證金	176	-	-	-
	$ 1,739,433	$ 325,638	$ -	$ -

105 年 12 月 31 日

	短於1年	1至3年	4至5年	5年以上
非衍生金融負債				
浮動利率工具				
短期借款	$ 661,852	$ -	$ -	$ -
長期借款	50,824	343,867	-	-
無附息負債				
應付票據	134,457	-	-	-
應付帳款	560,372	-	-	-
其他應付款	271,446	-	-	-
存入保證金	46	-	-	-
	$ 1,678,997	$ 343,867	$ -	$ -

105 年 3 月 31 日

	短於1年	1至3年	4至5年	5年以上
非衍生金融負債				
浮動利率工具				
短期借款	$ 398,710	$ -	$ -	$ -
長期借款	250,896	17,722	-	-
無附息負債				
應付票據	186,721	-	-	-
應付帳款	628,341	-	-	-
其他應付款	857,421	-	-	-
存入保證金	50	-	-	-
	$ 2,322,139	$ 17,722	$ -	$ -

(2) 衍生金融負債之流動性及利率風險表

針對衍生金融工具之流動性分析，就採淨額交割之衍生工具而言，係以未折現之合約淨現金流入及流出為基礎編製；就採總額交割之衍生工具而言，係以未折現之總現金流入及流出為基礎編製。當應付或應收金額不固定時，揭露之金額係依資產負債表日殖利率曲線所推估之預計利率決定。

105 年 3 月 31 日

	要求即付或短於 1 個月	1~3 個月	3個月至1年	1~5年	5年以上
淨額交割					
匯率選擇權	$ 967	$ -	$ -	$ -	$ -

106 年 3 月 31 日及 105 年 12 月 31 日，無尚未交割之衍生金融負債。

(3) 融資額度

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
有擔保銀行借款額度			
一已動用金額	$ 689,068	$ 724,958	$ 553,373
一未動用金額	653,074	852,109	196,555
	$ 1,342,142	$ 1,577,067	$ 749,928
無擔保銀行借款額度			
一已動用金額	$ 389,144	$ 306,693	$ 88,536
一未動用金額	1,782,885	2,130,125	1,769,845
	$ 2,172,029	$ 2,436,818	$ 1,858,381

三三、關係人交易

本公司之原母公司及最終母公司為廣運機械工程股份有限公司，本公司於 105 年 6 月 6 日股東常會改選董監事，因改選後廣運機械工程股份有限公司所持董監事席次占比減少，致喪失具主導本公司攸關活動之實質能力，並自 105 年 6 月 6 日起，為本公司之關聯企業。

本公司及子公司（係本公司之關係人）間之交易、帳戶餘額、收益及費損於合併時全數予以銷除，故未揭露於本附註。除已於其他附註揭露外，合併公司與其他關係人間之交易如下。

(一) 關係人名稱及其關係

關係人名稱	與合併公司之關係
廣運機械工程股份有限公司	關聯企業－對本公司採權益法之投資（105 年 6 月前為本公司之母公司）
蘇州廣奕置業開發有限公司	關聯企業－廣運機械工程股份有限公司之關聯企業
廣運機電（蘇州）有限公司	關聯企業－廣運機械工程股份有限公司之子公司（105 年 6 月前為本公司之兄弟公司）
廣運自動化工程（昆山）有限公司	關聯企業－廣運機械工程股份有限公司之子公司（105 年 6 月前為本公司之兄弟公司）
廣運越南有限責任公司	關聯企業－廣運機械工程股份有限公司之子公司（105 年 6 月前為本公司之兄弟公司）
金運科技股份有限公司	關聯企業－廣運機械工程股份有限公司之子公司（105 年 6 月前為本公司之兄弟公司）
謝 清 福	本公司之董事長

(二) 營業收入

帳列項目	關係人類別／名稱	106年1月1日至3月31日	105年1月1日至3月31
銷貨收入	關聯企業(原105年6月前之母公司)		
	廣運機械工程股份有限公司	$ 476	$ -
	關聯企業(原105年6月前之兄弟公司)		
	其他	-	16
		$ 476	$ 16

上述交易條件與一般客戶尚無重大異常。

(三) 應收關係人款項(不含對關係人放款)

帳列項目	關係人類別／名稱	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
應收帳款	關聯企業(原105年6月前之母公司)			
	廣運機械工程股份有限公司	$ 487	$ 3,753	$ -
	關聯企業(原105年6月前之兄弟公司)			
	其他	-	1,497	-
		$ 487	$ 5,250	$ -
其他應收款	關聯企業(原105年6月前之母公司)			
	廣運機械工程股份有限公司	$ -	$ -	$ 160
	關聯企業(原105年6月前之兄弟公司)			
	廣運機電(蘇州)有限公司	5,813	3,965	582
	其他	64	-	-
		5,877	3,965	582
	關聯企業			
	蘇州廣奕置業開發有限公司	17,850	10,666	-
		$ 23,727	$ 14,631	$ 742

流通在外之應收關係人款項未收取保證。106年及105年1月1日至3月31日應收關係人款項並未提列呆帳費用。

(四) 應付關係人款項（不含向關係人借款）

帳列項目	關係人類別／名稱	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
其他應付款	關聯企業（原105年6月前之母公司）			
	廣運機械工程股份有限公司	$ 19,389	$ 20,178	$ 130,247
	關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）			
	廣運機電（蘇州）有限公司	1,647	6,172	1,681
	其他	7,983	9,357	5,957
		9,630	15,529	7,638
		$ 29,019	$ 35,707	$ 137,885

流通在外之應付關係人款項餘額係未提供擔保。

(五) 預付款項

關係人類別／名稱	106年3月31日	105年12月31日	104年3月31日
預付設備款			
關聯企業（原105年6月前之母公司）			
廣運機械工程股份有限公司	$ 11,777	$ 2,411	$ 177,903
關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）			
廣運機電（蘇州）有限公司	1,240	1,201	6,501
	$ 13,017	$ 3,612	$ 184,404
預付款項			
關聯企業（原105年6月前之母公司）			
廣運機械工程股份有限公司	$ 275	$ 340	$ 340
關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）			
廣運機電（蘇州）有限公司	-	-	336
	$ 275	$ 340	$ 676

(六) 預收款項

關係人類別／名稱	106年3月31日	105年12月31日	104年3月31日
預收款項			
關聯企業（原105年6月前之母公司）			
廣運機械工程股份有限公司	$ 1,180	$ 1,180	$ -

(七) 取得之不動產、廠房及設備

關係人類別／名稱	取得價款 106年1月1日至3月31日	取得價款 105年1月1日至3月31日
關聯企業（原105年6月前之母公司）		
廣運機械工程股份有限公司	$ 499	$ -
關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）		
廣運機電（蘇州）有限公司	1,675	-
其他	153	-
	1,828	-
	$ 2,327	$ -

(八) 向關係人借款

關係人類別／名稱	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
關聯企業（原105年6月前之母公司）			
廣運機械工程份有限公司	$ -	$ -	$ 220,671
關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）			
廣運機電（蘇州）有限公司	-	-	174,020
	$ -	$ -	$ 394,691

合併公司向關係人借款之借款利率與市場利率相當。

(九) 對關係人放款

關係人類別／名稱	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
其他應收款			
關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）			
廣運機電（蘇州）有限公司	$ 211,536	$ 175,446	$ -
關聯企業			
蘇州廣奕置業開發有限公司	383,409	401,679	-
	$ 594,945	$ 577,125	$ -
利息收入			
關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）			
廣運機電（蘇州）有限公司	$ 2,082	$ 6,391	$ 140
關聯企業			
蘇州廣奕置業開發有限公司	7,882	11,988	-
	$ 9,964	$ 18,379	$ -

(十) 取得背書保證

取得背書保證

關係人類別／名稱	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
本公司之董事長			
謝清福			
保證金額	$ 2,067,501	$ 1,911,825	$ 959,651

105年3月31日係由廣運機械工程股份有限公司與謝清福先生共同擔保。

(十一) 其他關係人交易

關係人類別／名稱	帳列項目	106年1月1日至3月31日	105年1月1日至3月31日
關聯企業（原105年6月前之母公司）			
廣運機械工程股份有限公司	利息費用	$ -	$ 2,246
	製造費用－修繕費	$ 376	$ -
	什項支出	$ -	$ 620
	用品盤存	$ 288	$ 110
關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）			
廣運機電（蘇州）有限公司	利息費用	$ -	$ 1,670
	製造費用－修繕費	$ -	$ 27
	其他收入	$ -	$ 505
其他	製造費用－修繕費	$ 1,886	$ 1,585
	營業費用－修繕費	$ 51	$ 15
	製造費用－什項購置	$ 42	$ 21

租金支出

106年1月1日至3月31日

關係人名稱	租賃標的	租期	租金決定	月租（不含稅）	租金支出
關聯企業（原105年6月前之母公司）					
廣運機械工程股份有限公司	中壢市自強一路5號	105年5月1日起更換新約，期間105年5月1日至110年7月31日	議價	$ 3,985	$ 11,949
關聯企業（原105年6月前之母公司）					
廣運機械工程股份有限公司	台北市南港路二段97號3樓	104年6月1日至107年5月31日	議價	100	300
關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）	越南社會主義共和國，河西省國威工業區	105年2月1日至107年12月31日	議價	5億越南盾	2,117
					$ 14,366

105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

關係人名稱	租賃標的	租期	租金決定	月租（不含稅）	租金支出
關聯企業（原105年6月前之母公司）廣運機械工程股份有限公司	中壢市自強一路5號	102年8月1日至105年7月31日	議價	$ 3,985	$ 11,956
關聯企業（原105年6月前之母公司）廣運機械工程股份有限公司	台北市南港路二段97號3樓	104年6月1日至107年5月31日	議價	100	300
關聯企業（原105年6月前之兄弟公司）	越南社會主義共和國，河西省國威工業區	105年3月3日至105年9月3日	議價	615	1,846
					$ 14,102

(十二) 主要管理階層薪酬

	106年1月1日至3月31日	105年1月1日至3月31日
短期員工福利	$ 5,300	$ 15,075
退職後福利	58	144
	$ 5,358	$ 15,219

董事及其他主要管理階層之薪酬係由薪酬委員會依照個人績效及市場趨勢決定。

三四、質抵押之資產

合併公司下列資產業經提供為向銀行借款之擔保品、進口保證或進口設備、購料交易及工程押標金等之擔保明細如下：

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
存出保證金	$ 295,211	$ 297,792	$ 377,389
質押定存單（帳列無活絡市場之債務工具投資－流動）	30,653	12,925	117,528
房屋及建築－淨額	420,847	381,357	423,587
土地改良物	62,176	66,004	73,873
機器設備－淨額	797,411	862,749	-

（接次頁）

（承前頁）

	106年3月31日	105年12月31日	105年3月31日
質押定存單（帳列無活絡市場之債務工具投資－非流動）	$ 10,816	$ 10,992	$ 10,473
長期預付租金及預付租金	148,171	156,154	171,139
透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	-	-	99,512
其他金融資產－受限制活期存款－流動	3,788	22,392	5,130
其他金融資產－受限制活期存款－非流動	65,000	65,000	-
	$ 1,834,073	$ 1,875,365	$ 1,278,631

三五、重大或有負債及未認列之合約承諾

除已於其他附註所述者外，合併公司於資產負債表日之重大承諾事項及或有事項如下：

(一) 本公司於 97 年 7 月 9 日與 SunEdison Products Singapore Pte, Ltd.（原名 MEMC Singapore Pte, Ltd.，以下簡稱 SunEdison）簽訂購料協議，依該協議本公司自 97 年 9 月 1 日起至 107 年 8 月 31 日，將向 SunEdison 採購不低於約美金 34 億元之太陽能矽晶圓。截至 106 年 3 月 31 日已支付部分保證金美金 32,647 仟元（折合新台幣約 1,048,772 仟元），帳列存出保證金。依據該合約，本公司在合約存續期間，每年需再提供履約保證金，金額約美金 10,500 仟元至 66,500 仟元（折合新台幣約 318,465 仟元至 2,016,945 仟元），本公司與 SunEdison 議定於 98 年 9 月開始以市價採購矽晶片。

本公司另與 SunEdison 於合約中明訂提供不退回之保證金計美金 3,000 仟元（折合新台幣 90,990 仟元）予 SunEdison 拓建廠房以確保供貨料源，帳列其他非流動資產－其他項下，以實際進貨佔合約訂定之應進貨總額比重攤銷，截至 106 年 3 月 31 日，攤銷後新台幣餘額為 59,551 仟元，已於 101 年 12 月 31 日全數認列減損損失。

本公司 101 年度因受太陽能電池原料價格影響，過去簽訂之長期購料合約未依最低採購量交易，經與供應商取得共識並持續維持合作關係，認列預付貨款性質不足量之購料保證金損失，金額為 760,763 仟元及其他非流動資產減損損失 59,551 仟元，合計 820,314 仟元。

本公司與 SunEdison 於 102 年 3 月 29 日訂定增補協議，說明雙方簽訂之購料協議情形如下：

1. 修正最低採購量，合約剩餘期間內共需採購 250 百萬片矽晶圓，每季採購量不得低於 10.5 百萬片矽晶圓。
2. 未達採購量的部分將於年度核算，扣除可退回之存出保證金。
3. 雙方交易依循市價價格，每季更新。

(二) 合併公司之供應商 SunEdison Products Singapore Pte Ltd.（以下簡稱 SunEdison）於 105 年 4 月 21 日（美國當地時間）公告申請重整程序，因合併公司於 97 年 7 月 9 日與 SunEdison 簽訂購料協議，另於 102 年 3 月 29 日訂定增補協議，依該協議本合併公司將向 SunEdison 採購太陽能矽晶圓，故截至 106 年 3 月 31 日已支付部分保證金餘額美金 8,965 仟元（折合新台幣約 288,009 仟元），帳列存出保證金，及其他應收款美金 945 仟元(折合新台幣約 28,662 仟元)，合計佔合併公司 106 年 3 月 31 日總資產 7,229,078 仟元之 4.38%，由於對 SunEdison 之長期購料協議尚在有效期間內，且該公司目前仍維持營運，合併公司將極力要求該公司之破產管理人或未來投資人繼續履行合約，並依約持續退還保證金。為維護公司權益，合併公司已委請律師採取相應措施，並持續追蹤重整案進展。

(三) 本公司於 96 年 9 月與中美矽晶製品股份有限公司（以下簡稱中美晶公司）簽訂矽晶片購料合約，雙方約定分別自 97 年 1 月 1 日起至 99 年 12 月 31 日間及自 98 年 1 月 1 日起至 108 年 12 月 31 日間，每年分別依合約規定之數量及價格採購不低於約美金 44,388 仟元及歐元 85,518 仟元之太陽能矽晶圓，交付完畢止。本公司於合約規定期間分期預付購料款共計歐元 7,470 仟元予該供應商，預付款項不可退回，供應商保證供應約定數量原料予本公司。截至 106 年及 105 年 3

月 31 日止，太極能源科技股份有限公司已分別支付尚未進貨預付貨款分別帳列預付款項 55,619 仟元及 61,694 仟元及長期預付貨款 100,695 仟元及 133,079 仟元。

本公司與中美晶公司於 99 年 10 月 20 日訂定增補協議，說明雙方上述於 96 年 9 月簽訂之購料協議情形如下：

1. 雙方所簽的合約條款，與其他太陽能產業客戶，尚無不同。
2. 本公司應盡力向中美晶公司進貨，以符合合約之要求。
3. 雙方交易依循市價價格。
4. 雙方目前並無訴訟糾紛。

本公司截至 106 年及 105 年 1 月 1 日至 3 月 31 日，經評估履行該合約義務所發生之成本將高於預期從該合約所能獲得之經濟利益，已累計提列損失分別為 68,372 仟元及 53,544 仟元。

(四) 本合併公司於 100 年 1 月委託泰創工程股份有限公司（以下簡稱泰創公司）施作 S1 機電空調統包工程，合約總價款為 86,000 仟元（未稅）。針對驗收尾款支付義務雙方存有爭議，經台灣桃園地方法院於 102 年 11 月判決本合併公司敗訴，需支付部分尾款（佔工程總金額之 15%）共計 13,545 仟元，以及至清償日止按年利率 5%之利息，經本公司上訴後，高等法院於 105 年 1 月 27 日裁判廢棄原判決，第一、二審訴訟費用均由泰創公司負擔，泰創於 105 年 6 月 2 日聲明上訴，本案目前由最高法院審理中。

泰創公司另針對 S1 機電空調統包工程部分尾款（佔工程總金額之 5%），及追加工程、二次配工程尾款（佔二次配工程總金額之 20%）暨其他次要工程共計 15,684 仟元提起訴訟，桃園地方法院於 104 年 12 月 16 日判決本公司須給付泰創公司 85 仟元及自 102 年 1 月 10 日起之利息，泰創公司已於 105 年 1 月 7 日聲明上訴。

泰創公司針對其中 378 仟元工程款撤銷上訴，根據一審結果及本合併公司與泰創公司協議，本合併公司僅需支付 85 仟元不須外加利息。

泰創公司與本合併公司於 106 年 3 月 9 日於高等法院針對其中 619 仟元工程款達成和解，本合併公司須支付 580 仟元。

其餘訴訟若本合併公司敗訴，共須支付金額為 28,232 仟元及至清償日止按年利率 5%之利息 6,427 仟元，佔本合併公司 106 年 3 月 31 日歸屬於本合併公司業主之權益 4,903,121 仟元之 0.71%，對本合併公司之財務、業務尚不致發生重大影響。

(五) 合併公司截至 106 年 3 月 31 日，因建造及購置未完工程及設備而簽訂之合約，合約總價為 1,014,810 仟元，其中已支付 415,016 仟元。

(六) 合併公司 106 年 3 月 31 日止，已開立未使用信用狀餘額為美金 9,070 仟元，人民幣 9,991 仟元，歐元 633 仟元。

(七) 合併公司 106 年 3 月 31 日止為借款而開立之保證票據為 2,303,270 仟元，為借款提供背書保證金額，請詳附註三八之附表二。

三六、具重大影響之外幣金融資產及負債之資訊

以下係按合併公司各個體功能性貨幣以外之外幣彙總表達，所揭露之匯率，係指該等外幣換算至功能性貨幣之匯率。具重大影響之外幣金融資產及負債資訊如下：

106 年 3 月 31 日

	外幣	匯率	帳面金額
金融資產			
貨幣性項目			
美金	$ 51,631	30.33（美金：新台幣）	$1,565,965
美金	2,108	6.8993（美金：人民幣）	63,934
美金	8,886	22,755（美金：越南盾）	269,498
歐元	166	32.43（歐元：新台幣）	5,383
人民幣	153,663	4.407（人民幣：新台幣）	677,193
			$2,581,973
金融負債			
貨幣性項目			
美金	25,581	30.33（美金：新台幣）	$ 775,860
美金	15,804	6.8993（美金：人民幣）	479,335
美金	11,580	22,755（美金：越南盾）	351,232
歐元	4,835	32.43（歐元：新台幣）	156,789
歐元	240	26,801.65（歐元：越南盾）	7,778
日幣	2,420	202.11（日幣：越南盾）	657
			$1,771,651

105 年 12 月 31 日

	外幣	匯率	帳面金額
金融資產			
貨幣性項目			
美金	$ 45,469	32.25（美金：新台幣）	$ 1,466,367
美金	2,716	6.6401（美金：人民幣）	87,606
美金	12,957	22,755（美金：越南盾）	417,870
歐元	483	33.9（歐元：新台幣）	16,369
人民幣	155,199	4.617（人民幣：新台幣）	716,675
			$ 2,704,887
金融負債			
貨幣性項目			
美金	23,619	32.25（美金：新台幣）	$ 761,707
美金	7,252	6.6401（美金：人民幣）	233,873
美金	12,511	22,755（美金：越南盾）	403,465
歐元	3,601	33.90（歐元：新台幣）	122,075
歐元	13,239	26,279（歐元：越南盾）	448,802
人民幣	2,241	4.617（人民幣：新台幣）	10,347
			$ 1,980,269

105 年 3 月 31 日

	外幣	匯率	帳面金額
金融資產			
貨幣性項目			
美金	$ 63,527	32.185（美金：新台幣）	$ 2,044,622
美金	8,773	6.4612（美金：人民幣）	282,361
美金	3,159	22,290（美金：越南盾）	104,664
歐元	69	36.51（歐元：新台幣）	2,508
人民幣	15,097	4.972（人民幣：新台幣）	75,062
			$ 2,506,217
金融負債			
貨幣性項目			
美金	15,690	32.185（美金：新台幣）	$ 504,984
美金	13,324	6.4612（美金：人民幣）	428,844
美金	12,721	22,290（美金：越南盾）	409,415
歐元	52	36.51（歐元：新台幣）	1,887
歐元	18	25,272（歐元：越南盾）	663
			$ 1,345,793

具重大影響之外幣兌換損益如下：

功能性貨幣	106年1月1日至3月31日 功能性貨幣兌表達貨幣	106年1月1日至3月31日 淨兌換(損)益	105年1月1日至3月31日 功能性貨幣兌表達貨幣	105年1月1日至3月31日 淨兌換(損)益
新台幣	1 (新台幣：新台幣)	($ 49,419)	1 (新台幣：新台幣)	($ 16,933)
人民幣	4.407 (人民幣：新台幣)	572	4.972 (人民幣：新台幣)	2,247
越盾	0.00121 (越盾：新台幣)	(1,309)	0.00132 (越盾：新台幣)	2,475
		($ 50,156)		($ 12,211)

合併公司於106年及105年1月1日至3月31日外幣兌換損益，已實現金額(淨額後)分別為損失27,723仟元及利益34,276仟元，未實現金額(淨額後)分別為損失22,433仟元及損失46,487仟元。由於外幣交易及集團個體之功能性貨幣種類繁多，故無法按各重大影響之外幣別揭露兌換損益。

三七、其他事項

(一) 本合併公司於106年3月24日董事會決議擬於未來一年視資金需求情況辦理資本市場募資計劃，以發行股數不超過5,000萬股額度內，擬請股東常會授權董事會視市場狀況且配合公司資金需求，辦理國內現金增資案發行新股。

(二) 本合併公司於106年3月24日董事會擬議為償還銀行借款、充實營運資金或其他因應未來發展之資金需求，以利公司長期經營與發展，擬辦理不超過5,000萬股之私募普通股，並擬請股東會授權董事會視市場狀況且配合公司實際需求辦理。

三八、附註揭露事項

(一) 重大交易事項及(二)轉投資事業相關資訊：

1. 資金貸與他人。(附表一)
2. 為他人背書保證。(附表二)
3. 期末持有有價證券情形(不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分)。(附表三)
4. 累積買進或賣出同一有價證券之金額達新臺幣3億元或實收資本額20%以上。(無)

5. 取得不動產之金額達新臺幣3億元或實收資本額20%以上。(無)

6. 處分不動產之金額達新臺幣3億元或實收資本額20%以上。(無)

7. 與關係人進、銷貨之金額達新臺幣1億元或實收資本額20%以上。(附表四)

8. 應收關係人款項達新臺幣1億元或實收資本額20%以上。(附表五)

9. 從事衍生工具交易。(無)

10. 其他：母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額。(附表七)

11. 被投資公司資訊。(附表六)

(三) 大陸投資資訊：

1. 大陸被投資公司名稱、主要營業項目、實收資本額、投資方式、資金匯出入情形、持股比例、投資損益、期末投資帳面金額、已匯回投資損益及赴大陸地區投資限額。(附表八)

2. 與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區所發生下列之重大交易事項，及其價格、付款條件、未實現損益：(附表九)

(1) 進貨金額及百分比與相關應付款項之期末餘額及百分比。

(2) 銷貨金額及百分比與相關應收款項之期末餘額及百分比。

(3) 財產交易金額及其所產生之損益數額。

(4) 票據背書保證或提供擔保品之期末餘額及其目的。

(5) 資金融通之最高餘額、期末餘額、利率區間及當期利息總額。

(6) 其他對當期損益或財務狀況有重大影響之交易事項，如勞務之提供或收受等。

三九、<u>部門資訊</u>

(一) 部門別資訊

合併公司所營事業集中於太陽能發電、輸電及配電製造等銷售，且主要營運決策者於分配資源及評量績效時並無部門之劃分。

(二) 主要產品之收入

106年1月1日至3月31日			
太陽能電池	太陽能模組	工程收入	其他
$1,173,354	$ 26,291	$ -	$ 6,164

105年1月1日至3月31日			
太陽能電池	太陽能模組	工程收入	其他
$2,111,478	$ 15,972	$ -	$ 1,489

(三) 地區別資訊

合併公司主要於兩個地區營運－臺灣與中國。

合併公司來自外部客戶之繼續營運單位收入依營運地點區分與非流動資產按資產所在地區分之資訊列示如下：

	106年1月1日至3月31日		105年1月1日至3月31日	
	收入	非流動資產	收入	非流動資產
臺灣	$ 19,568	$ 1,670,810	$ 26,794	$ 1,939,927
中國	1,045,146	1,292,077	1,545,596	1,553,221
南韓	27,884	-	198,308	-
美國	17	-	113,928	-
其他國家	113,194	1,189,552	244,313	776,617
	$ 1,205,809	$ 4,152,439	$ 2,128,939	$ 4,269,765

非流動資產不包括分類為金融工具及遞延所得稅資產。

(四) 主要客戶資訊

106年1月1日至3月31日			105年1月1日至3月31日		
客戶代號	金額	佔收入比率%	客戶代號	金額	佔收入比率%
AN公司	$ 357,594	30	D2公司	$ 354,926	17
D2公司	191,567	16	AG公司	254,006	12
			蘇州公司	221,377	10

太極能源科技股份有限公司及子公司

資金貸與他人

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表一

單位：新台幣及外幣仟元

編號（註1）	貸出資金之公司	貸與對象	往來項目	是否為關係人	本期最高餘額	期末餘額	實際動支金額	利率區間	資金貸與性質	業務往來金額	有短期融通資金必要之原因	提列備抵呆帳金額	擔保品 名稱	擔保品 價值	對個別對象資金貸與限額（註2、註3及註4）	資金貸與總限額（註2、註3及註4）	備註
0	太極能源科技股份有限公司	承陽能源股份有限公司	其他應收款	Y	$ 50,000	$ 50,000	$ -	2.5%～5%（註2）	短期融通資金之必要	$ -	營運週轉	$ -	無	$ -	$ 980,624	$ 1,961,248	註5
0	太極能源科技股份有限公司	VIETNERGY 有限責任公司	其他應收款	Y	796,000 USD 26,000	788,580 USD 26,000	181,980 USD 6,000	3%～5%（註2）	短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	無	-	980,624	1,961,248	註5
0	太極能源科技股份有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	其他應收款	Y	1,052,477 RMB 203,000、USD 5,000	1,046,271 RMB 203,000、USD 5,000	605,571 RMB 103,000、USD 5,000	3.5%～5%（註2）	短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	無	-	980,624	1,961,248	註5
1	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	其他應收款	Y	42,989 USD 1,333	-	-	4%～5%（註3）	短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	無	-	1,486,505 RMB 337,305	1,486,505 RMB 337,305	註5
2	太極能源科技（昆山）有限公司	廣運機電（蘇州）有限公司	其他應收款	Y	214,608 RMB 48,000	211,536 RMB 48,000	211,536 RMB 48,000	4.35%（註4）	短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	無	-	594,592 RMB 134,920	594,592 RMB 134,920	註6
2	太極能源科技（昆山）有限公司	蘇州廣奕置業開發有限公司	其他應收款	Y	401,679 RMB 87,000	383,409 RMB 87,000	383,409 RMB 87,000	8%（註4）	短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	無	-	594,592 RMB 134,920	594,592 RMB 134,920	註6

註 1：編號欄之說明如下：

(1)發行人填 0。

(2)被投資公司按公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註 2：依太極能源科技股份有限公司資金貸與他人作業程序限額計算如下：

個別對象貸與限額：公司淨值 20%：4,903,121x20%＝980,624。

資金貸與總限額：公司淨值 40%：4,903,121x40%＝1,961,248。

本期資金貸與利息總額為 5,429 仟元。

註 3：依太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司資金貸與他人作業程序限額計算如下：

個別對象貸與限額：公司淨值 100%：RMB337,305x100%＝RMB337,305。

資金貸與總限額：公司淨值 100%：RMB337,305x100%＝RMB337,305。

本期資金貸與利息總額為 USD20 仟元。

註 4：依太極能源科技（昆山）有限公司資金貸與他人作業程序限額計算如下：

個別對象貸與限額：公司淨值 40%：RMB337,300x40%＝RMB134,920。

資金貸與總限額：公司淨值 40%：RMB337,300x40%＝RMB134,920。

本期資金貸與利息總額為 RMB2,200 仟元。

註 5：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。

註 6：太極能源科技（昆山）有限公司期末資金貸與總額 RMB 135,000 仟元超出總限額 RMB 80 仟元，公司已於 106 年 4 月 27 日收回 RMB11,000 仟元。

太極能源科技股份有限公司及子公司

為他人背書保證

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表二

單位：除另與註明者外，為新台幣仟元

編號（註 1）	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證限額（註 3）	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報表淨值之比率（%）	背書保證最高限額（註 3）	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證	備註
		公司名稱	關係（註 2）											
0	太極能源科技股份有限公司	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	(2)	$ 3,922,497	$ 42,989	$ -	$ -	$ -	-	$ 3,922,497	Y	N	N	
		VIETNERGY 有限責任公司	(2)	3,922,497	112,875	105,915	-	-	2.16	3,922,497	Y	N	N	
		太極能源科技（昆山）有限公司	(3)	3,922,497	64,500	45,495	45,495	-	0.93	3,922,497	Y	N	Y	

註 1：編號欄之說明如下：

(1) 發行人填 0。

(2) 被投資公司按公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註 2：背書保證者與被背書保證對象之關係有下列六種，標示種類即可：

(1) 有業務關係之公司。

(2) 直接持有普通股股權超過 50%之子公司。

(3) 母公司與子公司持有普通股股權合併計算超過 50%之被投資公司。

(4) 對於直接或經由子公司間接持有普通股股權超過 50%之母公司。

(5) 基於承攬工程需要之同業間依合約規定互保之公司。

(6) 因共同投資關係由各出資股東依其持股比例對其背書保證之公司。

註 3：對單一企業背書保證之限額：不超過本公司 105 年 12 月 31 日淨值之 80%：4,903,121x80%＝3,922,497

背書保證最高限額：不超過本公司 105 年 12 月 31 日淨值之 80%：4,903,121x80%＝3,922,497

太極能源科技股份有限公司及子公司

期末持有有價證券情形

民國 106 年 3 月 31 日

附表三

單位：除另予註明者外，為新台幣仟元

持有之公司	有價證券種類及名稱	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數	期末 帳面金額	期末 持股比例	期末 公允價值	備註
太極能源股份有限公司	國內非上市、上櫃股票							
	金運科技股份有限公司	實質關係人	備供出售金融資產－非流動	3,226,440	$ 30,694	3.49%	$ 30,694	
承陽能源股份有限公司	國內非上市、上櫃股票							
	金運科技股份有限公司	實質關係人	備供出售金融資產－非流動	700,000	6,660	0.76%	6,660	
					$ 37,354		$ 37,354	
	基金受益憑證							
	富蘭克林華美貨幣市場基金	無	備供出售金融資產－流動	1,370,842	$ 9,025		$ 9,025	

太極能源科技股份有限公司及子公司

與關係人進、銷貨之金額達新臺幣1億元或實收資本額20%以上

民國106年3月31日

附表四

單位：除另註明外，為新台幣仟元

進（銷）貨之公司	交易對象名稱	關係	交易情形				交易條件與一般交易不同之情形及原因（註1）		應收（付）票據、帳款		備註（註2）
			進（銷）貨	金額	佔總進（銷）貨之比率	授信期間	單價	授信期間	餘額	佔總應收(付)票據、帳款之比率	
太極能源科技股份有限公司	VIETNERGY有限責任公司	子公司	進貨（註4）	$ 128,637	14.91%	T/T 10days After on site	—	—	$ 123,378	26.24%	加工成本帳列其他應付款125,479仟元，佔總其他應付款35.14%。
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	子公司	銷貨	120,463	11.33%	T/T 90days After acceptance	—	—	122,902	16.28%	

註1：關係人交易條件如與一般交易條件不同，應於單價及授信期間欄位敘明差異情形及原因。

註2：若有預收（付）款項情形者，應於備註欄敘明原因、契約約定條款、金額及與一般交易型態之差異情形。

註3：實收資本額係指母公司之實收資本額。發行人股票無面額或每股面額非屬新臺幣10元者，有關實收資本額20%之交易金額規定，以資產負債表歸屬於母公司業主之權益10%計算之。

註4：去料加工原料成本已沖銷。

註5：相關交易及期末餘額已於合報表中消除。

太極能源科技股份有限公司及子公司

應收關係人款項達新台幣1億元或實收資本額20%以上

民國106年3月31日

附表五

單位：新台幣及外幣仟元

帳列應收款項之公司	交易對象名稱	關係	應收關係人款項餘額	週轉率	逾期應收關係人款項 金額	逾期應收關係人款項 處理方式	應收關係人款項期後收回金額	提列備抵呆帳金額	備註
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	子公司	應收款項 $ 122,902 USD 4,152 及 RMB -500	3.68	$ -	—	$ -	$ -	註6
			其他應收款（註2） 619,170 RMB 106,045 及 USD 5,006	-	-	—	-	-	
	VIETNERGY 有限責任公司	子公司	應收款項 48,015 USD 1,583	0.92	5	轉列其他應收款	-	-	註6
			其他應收款（註3） 200,575 USD 6,613	-	-	—	-	-	
	承陽能源股份有限公司	子公司	應收款項 203,463	0.93	30,428	轉列其他應收款	-	-	註6
太極能源（昆山）有限公司	廣運機電（蘇州）有限公司	關聯企業	其他應收款（註4） 217,349 RMB 49,319	-	-	—	-	-	
	蘇州廣奕置業開發有限公司	關聯企業	其他應收款（註5） 401,258 RMB 91,050	-	-	—	-	-	

註1：係屬帳款及資金融通性質，帳列應收帳款及其他應收款。

註 2：係屬於資金融通性質（605,571 仟元）、資金貸與利息（13,413 仟元）、及代收付性質（186 仟元），帳列其他應收款，不列入計算週轉率。

註 3：係屬於資金融通性質（181,980 仟元）、資金貸與利息（4,786 仟元）及代收付性質（13,809 仟元），帳列其他應收款，不列入計算週轉率。

註 4：係屬於資金融通性質（211,536 仟元）、資金貸與利息（5,813 仟元），帳列其他應收款，不列入計算週轉率。

註 5：係屬於資金融通性質（383,409 仟元）、資金貸與利息（17,849 仟元），帳列其他應收款，不列入計算週轉率。

註 6：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。

太極能源科技股份有限公司及子公司

被投資公司資訊、所在地區...等相關資訊

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表六

單位：新台幣及外幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期（損）益	本期認列之投資（損）益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率	帳面金額			
太極能源科技股份有限公司	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	TrustNet Chambers Lotemau Centre, P.O. BoX 1225, Apia, Samoa.	投資業務	$ 2,211,921	$ 2,211,921	-	100	$ 1,487,764	($ 40,812)	($ 55,477)	子公司
	承陽能源股份有限公司	桃園市中壢區復興里中壢工業區自強一路5號	太陽能發電及銷售業務	60,000	60,000	6,000,000	100	17,849	339	339	子公司
	VIETNERGY 有限責任公司	越南河內市國威縣石室-國威工業區 B 廠	生產高科技太陽能電池及相關電池組件	USD 42,000 1,339,468	USD 42,000 1,339,468	-	100	1,107,171	10,306	9,859	子公司
太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	江蘇省昆山開發區蓮朗鎮富春江路 1288 號	研發、設計及生產高科技綠色電池（太陽能電池）及相關電池組件	USD 70,000 2,206,989	USD 70,000 2,206,989	-	100	1,486,480 RMB 337,300	(40,126) (RMB 9,013)	(40,126) (RMB 9,013)	子公司

註 1：大陸被投資公司相關資訊請參閱附表八及附表九。

註 2：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。

註 3：本期最高持股與期末持有股數相同，無設質之情形。

太極能源科技股份有限公司及子公司

母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表七

單位：除另與註明者外，為新台幣仟元

編號（註 1）	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係（註 2）	交易往來情形			
				科目	金額（註 3）	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率
0	太極能源科技股份有限公司	VIETNERGY 有限責任公司	1	應收帳款	$ 48,015	與一般客戶無重大差異	-
			1	其他應收款	181,980	計息利率 2.5%～5%	3
			1	其他應收款	4,786	資金貸與之利息	-
			1	其他應收款	13,809	代收付性質	-
			1	其他應收款	5	應收帳款逾期轉列	-
			1	應付帳款	123,378	與一般客戶無重大差異	2
			1	其他應付款	125,479	與一般客戶無重大差異	2
			1	銷貨收入	6,206	與一般客戶無重大差異	1
			1	加工成本	128,637	與一般客戶無重大差異	11
			1	利息收入	1,366	資金貸與之利息	-
		太極能源科技（昆山）有限公司	1	應收帳款	122,902	與一般客戶無重大差異	2
			1	其他應收款	13,413	資金貸與之利息	-
			1	其他應收款	605,571	計息利率 2.5%～5%	8
			1	其他應收款	186	代收付性質	-
			1	應付帳款	4,189	與一般客戶無重大差異	-
			1	銷貨收入	120,463	與一般客戶無重大差異	10
			1	銷貨成本	4,256	與一般客戶無重大差異	-
			1	利息收入	4,063	資金貸與之利息	-
		承陽能源股份有限公司	1	應收帳款	173,035	與一般客戶無重大差異	2
			1	其他應收款	30,428	應收帳款逾期轉列	-
			1	銷貨收入	141	與一般客戶無重大差異	-
			1	工程收入	44,213	與一般客戶無重大差異	4
1	太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司	太極能源科技（昆山）有限公司	3	利息收入	596	資金貸與之利息	-

註 1：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：

(1) 母公司填 0。

(2) 子公司依公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註 2：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可（若係母子公司間或各子公司間之同一筆交易，則無須重複揭露。如：母公司對子公司之交易，若母公司已揭露，則子公司部分無須重複揭露；子公司對子公司之交易，若其一子公司已揭露，則另一子公司無須重複揭露）：

(1) 母公司對子公司。

(2) 子公司對母公司。

(3) 子公司對子公司。

註 3：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。

太極能源科技股份有限公司及子公司

大陸投資資訊

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表八

單位：新台幣及外幣仟元

1. 大陸被投資公司名稱、主要營業項目、實收資本額、投資方式、資金匯出入情形、持股比例、投資損益、期末投資帳面金額及已匯回投資損益情形：

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式（註1）	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資（損）益（註2）	期末投資帳面金額	截至本期止已匯回投資收益	備註
					匯出	收回							
太極能源科技（昆山）有限公司	研發、設計及生產高科技綠色電池（太陽能電池）及相關電池組件	$ 2,206,989	(2)	$ 2,206,989	$ -	$ -	$ 2,206,989	($ 40,126) (RMB 9,013)	100%	($ 40,126) (RMB 9,013) (2)B	$ 1,486,480	$ -	

註 1：投資方式區分為下列三種，標示種類別即可：

(1) 直接赴大陸地區從事投資。

(2) 透過第三地區公司再投資大陸：太極能源科技控股（薩摩亞）有限公司

(3) 其他方式。

註 2：本期認列投資損益欄中：

(1) 若屬籌備中，尚無投資損益者，應予註明。

(2) 投資損益認列基礎分為下列三種，應予註明。

A. 經與中華民國會計師事務所有合作關係之國際性會計師事務所核閱簽證之財務報表。

B. 經台灣母公司簽證會計師核閱之財務報表。

C. 其他（上述被投資公司自結之同期間財務報表）。

2. 赴大陸地區投資限額：

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
$ 2,206,989 (USD70,000 仟元)	$ 2,206,989 (USD70,000 仟元)	$ 2,941,873

太極能源科技股份有限公司及子公司

與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區所發生下列之重大交易事項，及其價格、付款條件、未實現損益及其他相關資訊

民國 106 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

附表九

單位：新台幣及外幣仟元

大陸被投資公司名稱	交易類型	進、銷貨		價格	交易條件		應收（付）票據、帳款		未實現（損）益	備註
		金額	百分比		付款條件	與一般交易之比較	金額	百分比		
太極能源科技（昆山）有限公司	銷貨	$ 120,463	11.33	與一般客戶無重大差異	與一般客戶無重大差異	無重大差異	應收帳款 $ 122,902	16.28	$ 15,299	
	進貨	4,256	0.49	與一般客戶無重大差異	與一般客戶無重大差異	無重大差異	應付帳款 4,189	0.89	-	

註 1：與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區提供資金融通之最高餘額、期末餘額、利率區間及當期利息總額，其相關情形請詳附表一。

註 2：與大陸投資公司直接或間接經由第三地區事業提供背書、保證或提供擔保品目的係子公司融資所需，其相關情形請詳附表二。

註 3：與大陸投資公司直接或間接經由第三地區事業財產交易金額及所產生之損益數額：無。

註 4：相關交易及期末餘額已於合併報表中消除。